令和３年度

広島県内遺跡発掘調査（詳細分布調査）報告書

令和５（2023）年３月

広 島 県 教 育 委 員 会

令和三年度広島県内遺跡発掘調査（詳細分布調査）報告書
令和五年三月
広島県教育委員会

例　　言

1　本書は，広島県教育委員会が，令和３年度に国庫補助を受けて実施した県内遺跡発掘調査（詳細分布調査）事業に係る調査成果の報告書である。

2　本事業は，道路建設・住宅建設・農業基盤整備等，今後急速に開発が進展すると予想される地域及び既に開発計画が立案されている地域について，遺跡の分布調査（現地踏査及び試掘・確認調査）を行い，保存対策に資する目的で実施したものである。

　具体的には，①大規模開発事業・広域開発事業・重要遺跡の取扱いなど，市町教育委員会（以下「市町教委」という。）が単独で対応することが困難な業務への対応，②専門職員未配置の市町教委に対する指導・助言・援助の観点から，各開発事業者等あるいは市町教委からの協議に基づいて県内各地の開発計画地内の現地踏査や試掘・確認調査を実施し，埋蔵文化財包蔵地の有無，範囲，内容等の確認を行うとともに，保存方法に関する協議を行った。

3　第２・８～11図の試掘坑位置図の基図は，各開発事業者から提供された地形図・工事平面図を使用した。

　なお，工事平面図については，原則として試掘当時のものを使用しているため，図中の開発事業範囲や工事設計等は，その後変更されている場合がある。

4　本事業に係る現地調査から報告書作成に至る業務は，広島県教育委員会事務局管理部文化財課が行った。担当者は次のとおりである。

現地調査・所見作成	（令和３年度）	沖　憲明（埋蔵文化財係長），村田　晋（主任），伊藤大輔（主任），森本直人（主任）
資料整理	（令和３年度）	村田　晋，森本直人
報告書編集	（令和４年度）	森本直人

5　調査の実施に当たっては，各開発事業者，地権者及び関係市町文化財保護担当部局等の協力を得た。

6　本報告書作成に係る資料類については，図面・写真類は広島県教育委員会事務局管理部文化財課（広島市中区基町９番42号），出土遺物は広島県立埋蔵文化財センター（広島市西区観音新町四丁目８番49号）で保管している。

目　　次

第１章　事業の概要 …… 1

第２章　試掘・確認調査の成果
　1　都市計画道路吉行飯田線街路事業に係る試掘調査 …… 4
　2　農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）に係る試掘調査 …… 21

報告書抄録

挿 図 目 次

第１図　都市計画道路吉行飯田線街路事業に係る試掘調査地点位置図（1：25,000） …… 4
第２図　都市計画道路吉行飯田線街路事業計画地 試掘坑位置図（1：2,000） …… 5
第３図　都市計画道路吉行飯田線街路事業計画地 出土遺物実測図（1：３） …… 7
第４図　都市計画道路吉行飯田線街路事業計画地 土層断面図（1：40） …… 13
第５図　都市計画道路吉行飯田線街路事業計画地 土層断面図（1：40） …… 14
第６図　都市計画道路吉行飯田線街路事業計画地 土層断面図（1：40，1：60） …… 15
第７図　農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）に係る試掘調査地点位置図（1:25,000） …… 21
第８図　農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地全体図（1：10,000） …… 23
第９図　農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地試掘坑位置図（1：3,000） …… 24
第10図　農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地試掘坑位置図（1：3,000） …… 25
第11図　農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地試掘坑位置図（1：3,000） …… 26
第12図　農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地出土遺物実測図（1：３） …… 27
第13図　農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地 土層断面図（1：40） …… 43
第14図　農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地 土層断面図（1：40） …… 44
第15図　農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地 土層断面図（1：40） …… 45

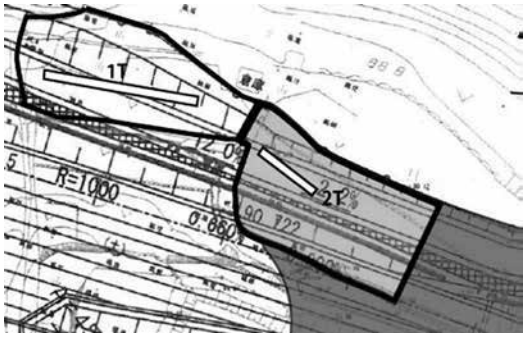
表　目　次

表１　令和３年度に確認した埋蔵文化財包蔵地 …… 1
表２　令和３年度に実施した現地踏査等の概要 …… 1
表３　令和３年度に実施した試掘調査等の概要 …… 3
表４　都市計画道路吉行飯田線街路事業計画地試掘坑所見 …… 9
表５　農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地試掘坑所見 …… 28

図 版 目 次

図版１　a　１Ｔ（北西から）　b　２Ｔ（南西から）　c　３Ｔ（北東から）……16
図版２　a　３Ｔ遺構検出状況（東から）　b　４Ｔ（北から）
　　c　４Ｔ遺構検出状況（南西から）……17
図版３　a　５Ｔ（北西から）　b　６Ｔ（南東から）　c　７Ｔ（北西から）
　　d　８Ｔ（南から）　e　９Ｔ（西から）　f　10Ｔ（北から）
　　g　11Ｔ（南西から）　h　12Ｔ－１（南東から）……18
図版４　a　12Ｔ－１遺構検出状況（東から）　b　12Ｔ－２（北西から）
　　c　13Ｔ（北西から）……19
図版５　a　12Ｔ－２遺構検出状況（南から）　b　13Ｔ遺構検出状況（北から）
　　c　出土遺物……20
図版６　a　１Ｔ－２（北西から）　b　１Ｔ－３（北東から）　c　１Ｔ－３土層（東から）‥46
図版７　a　２Ｔ－２（南東から）　b　２Ｔ－２土層（東から）　c　３Ｔ－２（南東から）‥47
図版８　a　５Ｔ（北西から）　b　６Ｔ－２（南西から）　c　６Ｔ－２土層（南から）……48
図版９　a　12Ｔ－１（北東から）　b　12Ｔ－１土層（東から）　c　12Ｔ－２（北東から）
　　d　13Ｔ－１（北西から）　e　13Ｔ－１土層（西から）　f　13Ｔ－２（北西から）
　　g　13Ｔ－２土層（西から）　h　14Ｔ－１（北東から）……49
図版10　a　14Ｔ－１土層（東から）　b　14Ｔ－２（北東から）　c　14Ｔ－２土層（東から）
　　d　15Ｔ－１（北西から）　e　15Ｔ－１土層（西から）　f　15Ｔ－２（北西から）
　　g　15Ｔ－２土層（西から）　h　16Ｔ（南西から）……50
図版11　a　16Ｔ土層（西から）　b　17Ｔ－１（北西から）　c　17Ｔ－１土層（西から）
　　d　17Ｔ－２（南西から）　e　17Ｔ－２土層（西から）　f　18Ｔ－１（北東から）
　　g　18Ｔ－１土層（東から）　h　18Ｔ－２（北東から）……51
図版12　a　25Ｔ（西から）　b　25Ｔ遺構検出状況（南から）　c　26Ｔ－１（北東から）‥‥52
図版13　a　26Ｔ－１土層（東から）　b　26Ｔ－２（東から）　c　27Ｔ－１（西から）……53
図版14　a　27Ｔ－１土層（西から）　b　27Ｔ－２（西から）　c　28Ｔ－１（東から）……54
図版15　a　28Ｔ－２（東から）　b　29Ｔ（西から）　c　30Ｔ（北から）……55
図版16　a　31Ｔ（北から）　b　32Ｔ（北から）　c　33Ｔ（東から）
　　d　34Ｔ（北西から）　e　35Ｔ（北西から）　f　36Ｔ－１（西から）
　　g　36Ｔ－２（西から）　h　37Ｔ（西から）……56
図版17　a　38Ｔ（北西から）　b　39Ｔ（西から）　c　40Ｔ（西から）
　　d　41Ｔ（西から）　e　42Ｔ（東から）　f　43Ｔ－１（東から）
　　g　43Ｔ－２（西から）　h　44Ｔ－１（北東から）……57
図版18　a　44Ｔ－２（北東から）　b　45Ｔ（東から）　c　46Ｔ（北東から）
　　d　47Ｔ（西から）　e　48Ｔ（東から）　f　48Ｔ土層（南東から）
　　g　49Ｔ－１（西から）　h　49Ｔ－２（北西から）……58
図版19　a　出土遺物……59

試掘坑位置図凡例



白塗り　試掘坑

試掘調査により確認した埋蔵文化財包蔵地の範囲

既周知の埋蔵文化財包蔵地

試掘調査の結果埋蔵文化財包蔵地ではないと確認した範囲

第１章　事業の概要

１　令和３年度に実施した分布調査の概要について

令和３年度に実施した，道路建設等の各種開発事業に先立つ現地踏査や現地協議等は，表２に掲げた36件である。

また，令和３年度に実施した試掘・確認調査は，表３に掲げた２事業８地点，合計64,101.26㎡である。

これらの分布調査及び試掘・確認調査の結果，表１に掲げた埋蔵文化財包蔵地を確認した。試掘調査の内容や確認した埋蔵文化財包蔵地の範囲等の詳細については，次章に記載する。

表１　令和３年度に確認した埋蔵文化財包蔵地

遺跡名	市町名	時代	種類	面積（㎡）	確認方法	開発事業種類	備考
福原２号遺跡	東広島市	弥生	集落跡	1,700.26	試掘調査	道路	
福原南遺跡	東広島市	弥生	集落跡	784.53	試掘調査	道路	
横田１号遺跡	東広島市	弥生	集落跡	2,699.54	試掘調査	道路	
御薗宇城跡	東広島市	中世	城館跡	4,205	試掘調査	農業基盤整備事業	
（遺跡名称未確定）	東広島市	中世	集落跡	2,622	試掘調査	農業基盤整備事業	新規発見

表２　令和３年度に実施した現地踏査等の概要

№.	調査地	調査原因	原因者	調査期間	担当者名	用務内容
1	福山市	港湾	広島県	4/8	沖　憲明	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地協議）
2	福山市	港湾	広島県	4/14	沖　憲明 森本直人	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地協議）
3	大竹市	道路	広島県	4/16	村田　晋	専門職員未配置市町における開発事業対応（現地踏査）を支援
4	三次市	史跡寺町廃寺跡発掘調査	三次市	4/26	村田　晋	重要遺跡取扱い協議
5	大竹市	道路	国土交通省	5/12	沖　憲明	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地協議）
6	東広島市	道路	広島県	5/18	村田　晋	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地協議）
7	大竹市	個人住宅	個人 民間企業	5/31	村田　晋	専門職員未配置市町における開発事業対応（試掘調査）を支援
8	大竹市	個人住宅	個人 民間企業	6/1	村田　晋	専門職員未配置市町における開発事業対応（試掘調査）を支援
9	東広島市	道路	広島県	6/3	村田　晋	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地協議）
10	海田町	個人住宅	個人 民間企業	6/9	村田　晋	専門職員未配置市町における開発事業対応（現地踏査）を支援
11	三原市	農業基盤整備	広島県	7/15	沖　憲明 村田　晋	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地踏査）

№.	調査地	調査原因	原因者	調査期間	担当者名	用務内容
12	神石高原町	住宅	民間企業	7/21	村田　晋	専門職員未配置市町における開発事業対応（現地踏査）を支援
13	大竹市	個人住宅	個人 民間企業	7/26	村田　晋	専門職員未配置市町における開発事業対応（工事立会）を支援
14	大竹市	道路	国土交通省	8/5	村田　晋	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地協議）
15	福山市	道路	広島県	9/13	沖　憲明	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地協議）
16	福山市	港湾	広島県	9/21	沖　憲明	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地協議）
17	安芸高田市	災害復旧	安芸高田市 広島県	9/21	森本直人	重要遺跡取扱い協議
18	熊野町	個人住宅	民間企業	9/27	村田　晋	専門職員未配置市町における開発事業対応（現地踏査）を支援
19	福山市	道路	広島県	9/27	沖　憲明	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地協議）
20	大竹市	道路	国土交通省	9/27	村田　晋	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地協議）
21	福山市	港湾	広島県	10/14	森本直人	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地協議）
22	三原市	史跡三原城跡取扱い協議	三原市	11/12	伊藤大輔	重要遺跡取扱い協議
23	神石高原町	ガス・電気・水道等（電気）	民間企業	11/26	村田　晋	専門職員未配置市町における開発事業対応（現地踏査）を支援
24	東広島市	道路	国土交通省	12/2	沖　憲明 村田　晋	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地協議）
25	府中市	道路	広島県	12/3	沖　憲明 村田　晋	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地協議）
26	福山市	道路	国土交通省	12/7	沖　憲明 村田　晋	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地協議）
27	江田島市	その他開発	民間企業	12/14	村田　晋	専門職員未配置市町における開発事業対応（現地踏査）を支援
28	東広島市	道路	広島県	12/16	沖　憲明 村田　晋	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地協議）
29	福山市	道路	広島県	12/17	沖　憲明 村田　晋	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地協議）
30	熊野町	個人住宅	個人 民間企業	1/11	村田　晋	専門職員未配置市町における開発事業対応（現地踏査）を支援
31	三原市	史跡三原城跡取扱い協議	三原市	2/1	伊藤大輔	重要遺跡取扱い協議
32	東広島市	道路	広島県	2/2	沖　憲明	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地協議）
33	東広島市	農業基盤整備	広島県	2/7	村田　晋 森本直人	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地踏査）
34	福山市	史跡福山城跡取扱い協議	福山市	2/8	森本直人	重要遺跡取扱い協議
35	三次市	史跡寺町廃寺跡取扱い協議	三次市	3/7～ 3/8	沖　憲明	重要遺跡取扱い協議
36	福山市	道路	福山市	3/10	沖　憲明	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議（現地踏査）

表３　令和３年度に実施した試掘調査等の概要

№.	用務地	調査原因	原因者	調査対象面積	調査期間	担当者名	用務内容
1	東広島市	道路	広島県	7,062.26㎡	11/8 ～ 11/12	村田　晋 森本直人	１地点の試掘調査を実施し，３か所の埋蔵文化財包蔵地は確認した。
					11/15 ～ 11/17	村田　晋 森本直人	
2	東広島市	農業基盤整備事業	広島県	57,039㎡	3/2 ～ 3/4	村田　晋 森本直人	７地点の試掘調査を実施し，２か所の埋蔵文化財包蔵地を確認した。
					3/7 ～ 3/11	村田　晋 森本直人	
合計		２事業		64,101.26㎡			８地点の試掘調査を実施し，５か所の埋蔵文化財包蔵地を確認した。

第２章　試掘・確認調査の結果

１　都市計画道路吉行飯田線街路事業に係る試掘調査

所　在　地：東広島市西条町寺家

調 査 目 的：都市計画道路吉行飯田線街路事業に係る埋蔵文化財の有無及び範囲確認

開発事業者：広島県西部建設事務所

調査年月日：令和３年11月８日～12日，11月15日～17日

調査対象面積：7,062.26㎡

調 査 結 果：次の埋蔵文化財包蔵地を確認した。

福原２号遺跡（弥生，集落跡，面積1,700.26㎡，１Ｔ・２Ｔ・３Ｔ周辺）

福原南遺跡　（弥生，集落跡，面積784.53㎡，４Ｔ周辺）

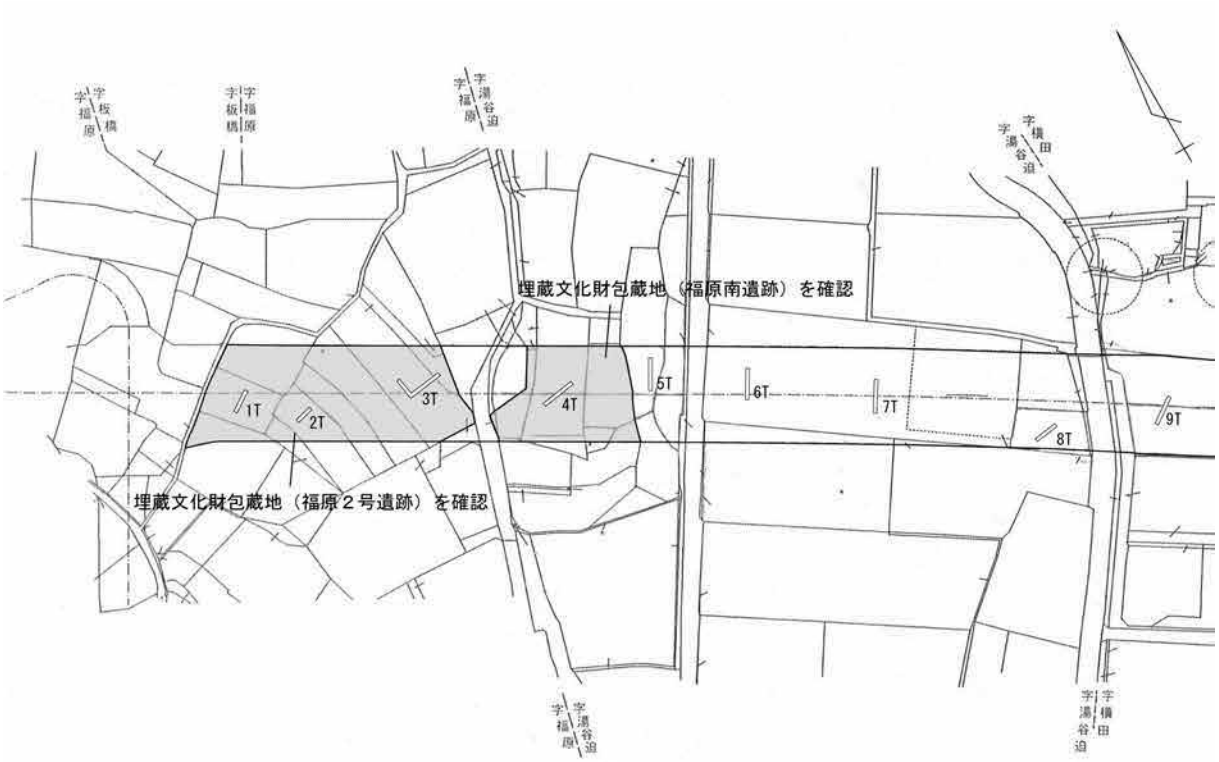
横田１号遺跡（弥生，集落跡，面積2,699.54㎡，11Ｔ・12Ｔ－１・12Ｔ－２・13Ｔ周辺）

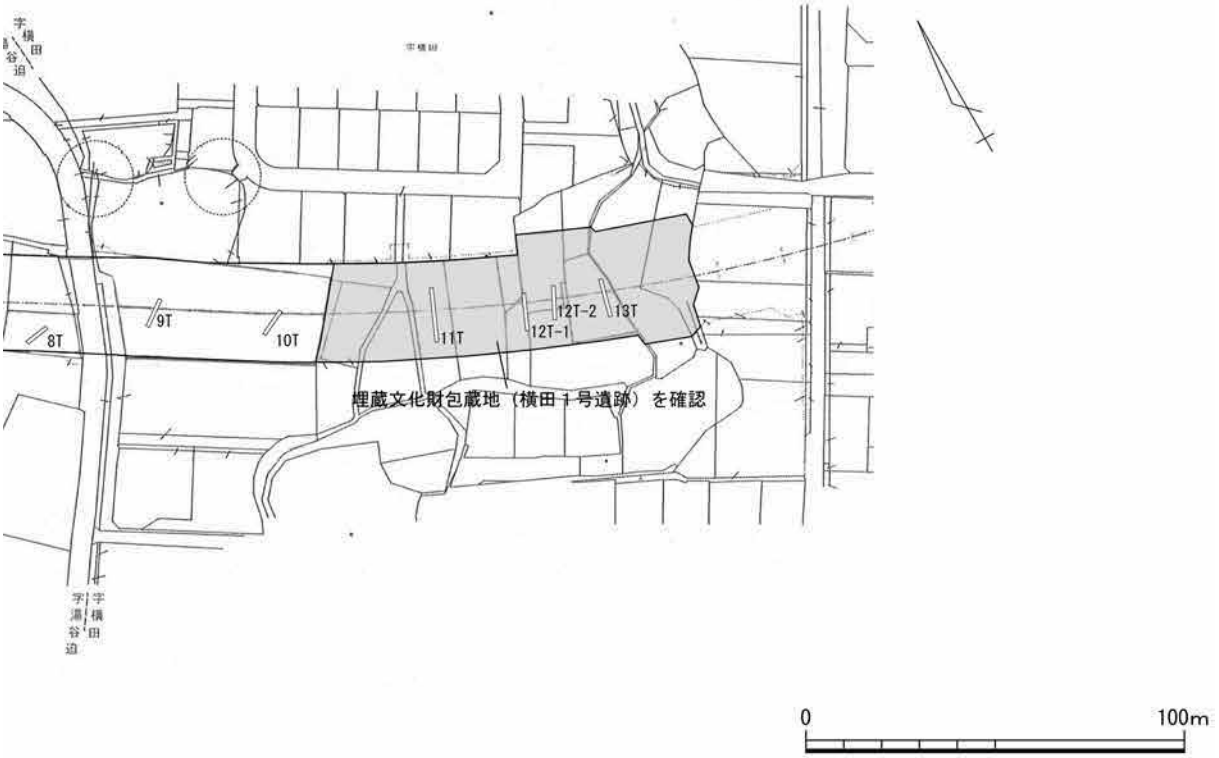
調査概要：

試掘調査では，令和３年度に試掘依頼を受けた，事業計画地西側部分の計14か所を重機により掘削し，遺構の有無を精査した。試掘坑番号は，西から順番に１Ｔ～13Ｔとした。

１Ｔでは，試掘坑内で明確な遺構は確認できなかった。しかし，同事業に伴い，１Ｔ西側で実施された福原２号遺跡の発掘調査では，遺構が発掘調査実施範囲外の東側に続く状況が確認されており，今回の事業計画地内まで遺構分布が及んでいる可能性が高い[1]。

第１図　都市計画道路吉行飯田線街路事業に係る試掘調査地点位置図（1：25,000）
（国土地理院1：25,000地形図「安芸西条」図幅を使用）





第２図　都市計画道路吉行飯田線街路事業計画地 試掘坑位置図（1：2,000）

２Ｔでは，現地表下20～110㎝にかけて堆積する２～４層に土器片が含まれ，特に地山直上の４層からは弥生土器片が集中して出土した。破片は残存率が高く，接合関係を示す破片があること，時期についても弥生時代中期後葉頃にまとまることから，原位置から大きく移動していないと判断できる。攪乱や後世遺物の混入もない。以上により，試掘坑内で直接遺構の確認はできなかったが，２Ｔ周辺に遺構が存在する可能性が高い。

３Ｔの現地は上面が削平されて平坦化しているが，現地表下約20cmで検出した地山直上で，埋土中に土器片を包含するピット等の遺構を確認した。

３Ｔのある地点から１・２Ｔのある地点にかけての本来の地形は，緩やかに下降する一連の丘陵であり，同一の埋蔵文化財包蔵地と考えられる（名称：福原２号遺跡）。なお，３Ｔの東側と南側は急斜面となるが，斜面より下方は南西側に向かって開く谷部にあたると考えられ，３Ｔからの遺構分布は斜面上端をもって途切れると判断できる。

４Ｔの現地は，開墾により上面が削平されて平坦化しているが，現地表下約10cmで検出した地山直上で，複数の土坑やピット等の遺構を確認した。４Ｔ周辺の地形と，すぐ南側で実施された福原南遺跡の発掘調査実施範囲の地形が連続することから，同一の埋蔵文化財包蔵地と判断できる[(2)]。

５Ｔでは遺構・遺物は確認できなかった。４Ｔ周辺の平坦地と５Ｔ周辺の平坦地は現在，高低差２ｍ程度の崖面で分断され，崖面には地山が露出している。５Ｔのある地点の本来の地形は，４Ｔの平坦面から急下降する斜面地にあたり，加えて現在は大きく削平を受けている。４Ｔからの遺構分布は崖面上端をもって途切れると判断できる。

６・７Ｔでは，遺構・遺物は確認できなかった。６Ｔでは地山上に流砂と考えられる砂質土及び砂が二層にわたり堆積し，７Ｔではマンガン集中部や鉄分の横縞がみられる砂質土とシルト質土が複数層にわたり堆積していた。両地点とも地山検出面より上位で湧水があり，現地表下100㎝以下で地山を検出したが，グライ化し，明緑灰色の土色を呈していた。６・７Ｔの地点は，４Ｔ周辺の平坦地から地山検出レベルが５ｍ近く下がった低位部かつ集水部にあたり，埋蔵文化財包蔵地に該当しないと判断した。

８Ｔでは遺構・遺物は確認できなかった。現地は近現代の宅地化に伴い区画造成されている。現地表下約45㎝で地山を確認したが，地山上面は水平に削れており，直上まで近現代客土が堆積していた状況から，大幅に地形改変を受けていると考えられる。

９Ｔでは遺構・遺物は確認できなかった。現地は近現代の土地利用に伴い区画造成されている。現地表下約65㎝で地山を確認したが，現地表面と同じく，上面が水平な状態で検出された。区画造成に伴って，大幅に地形改変を受けていると考えられる。

10Ｔでは遺構は確認できなかった。東端から１ｍの地点で地表下約60㎝，西端で地表下約１ｍの深さで地山が確認され，東から西側に向かって地山が下降している。地山の上に堆積する５・６層には，土器の微細片が含まれていたが，これは，さらに東側の横田１号遺跡が立地する丘陵から流入したものと考えられる。なお，トレンチ東端において地山の落ち込みを確認したが，掘り形は不整形で，特定の埋土も伴わないため，遺構とは判断しない。

11～13Ｔ周辺は，埋蔵文化財包蔵地「横田１号遺跡」として既に周知されている範囲である。試掘調査実施範囲北側の住宅団地建設に伴って発掘調査が実施されている[3]。また，試掘調査実施範囲東側でも東広島市教育委員会によって試掘調査が実施され，遺構が確認されている[4]。

12Ｔ－１・12Ｔ－２・13Ｔでは，現地表下10cm以下で検出した地山直上で，複数の土坑やピット等の遺構を確認した。12Ｔ－１で確認した隅丸方形（推定）土坑を断ち割り，一部を掘り下げたところ，土坑底面中央に深さ８cmの掘り込みを検出した。平面形や底面の構造から，東広島市教育委員会の発掘調査で検出された土坑SK123・124（弥生時代後期）などが類例にあたると考えられる[5]。12Ｔ－２で確認した土坑上面からは弥生時代後期の甕形土器が出土した。以上により，周辺には弥生時代後期を中心とする集落遺跡が広がる可能性が高い。なお，11Ｔでは，試掘坑内で明確な遺構・遺物は確認できなかったが，12Ｔ－１・12Ｔ－２・13Ｔ周辺と一連の地形にあることから，遺構分布が及んでいる可能性が高い。埋蔵文化財包蔵地の範囲については，11～13Ｔが位置する丘陵の東西が急斜面となっていることから，遺構分布はこの斜面で途切れるものと判断し，現在の「横田１号遺跡」周知範囲と同一の範囲を埋蔵文化財包蔵地と判断する。

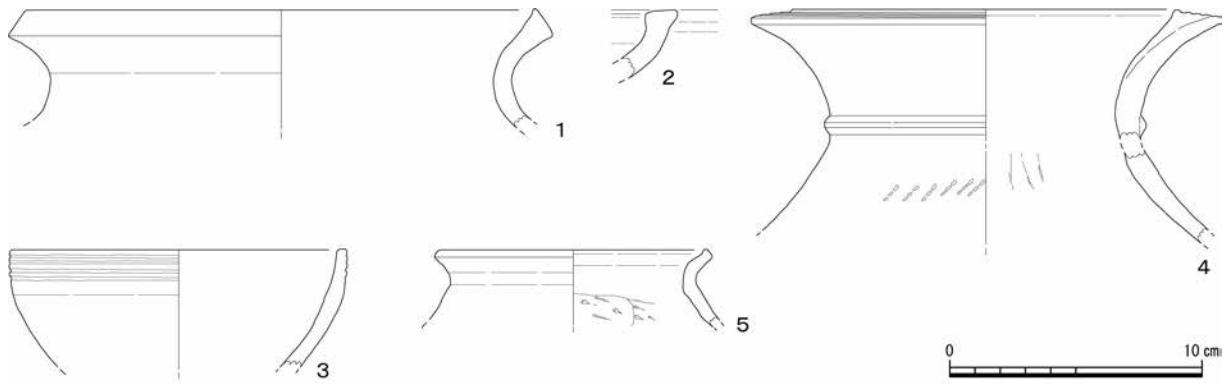
出土遺物：

いずれも弥生土器であり，２Ｔ第４層から出土した。

１は甕の口縁部である。口縁部復元径20cm，色調は内外面とも黄橙色（10YR8/6）を呈する。焼成はやや不良気味で断面は黒みがかる。胎土は粗く，径２～３㎜程の石英・長石・赤色鉱物片を多量に含む。無文で，風化により内面調整は確認できない。

２は高杯の口縁部である。細片だが，椀型の杯部をもつ個体と考えられる。色調は外面が浅黄色（2.5Y7/4），内面が灰黄色（2.5Y6/2）を呈する。焼成はやや不良気味である。胎土は粗く，径１㎜程の石英・長石片を多量に含む。口縁部端面その他の部位に文様は確認できない。

３は深めの椀型を呈する高杯または鉢の口縁部である。口縁部復元径は13.2cm，色調は内外面とも淡黄色（2.5Y8/4）を呈する。焼成はやや不良気味で断面は黒みがかる。胎土は密である。径１㎜程の石英片，径0.5㎜程の長石片を含む。外面の口縁部付近には４条の沈線が観察でき，内面の下半には単位不明瞭ながらミガキ調整が観察できる。



第３図　都市計画道路吉行飯田線街路事業計画地 出土遺物実測図（１：３）

４は広口壺の口縁部から上胴部である。口縁部復元径約15㎝，色調は外面が橙色（7.5YR6/6），内面が明黄褐色（10YR7/6）を呈する。焼成は良好で，特に外面側が良く焼けて赤みがかる。胎土は密である。径１～２㎜程の石英・長石片を含む。口縁部端面には４条の凹線，頸部外面には１条の貼付凸帯文，肩部には櫛歯状工具による列点文が観察できる。頸部内面には絞り目が観察できる。

５は試掘坑№12-2から出土した。甕または鉢の口縁部で，口縁部復元径10.6㎝の小型品である。色調は内外面とも明黄褐色（10YR7/6）を呈する。焼成はやや不良気味で断面は黒みがかる。胎土は密である。径１～２㎜程の石英・長石片を含む。無文で，胴部内面の頸部以下の位置にヘラケズリが観察できる。

これらの土器は型式学的特徴からみて弥生時代中期後半から後期前半頃にかけてのものと考えられる[(6)・(7)]。

註

（１）『狐川１号遺跡・福原２号遺跡・福原３号遺跡』公益財団法人広島県教育事業団，2017年。

（２）『福原南遺跡発掘調査報告書』東広島市教育委員会，2019年。

（３）『横田１号遺跡発掘調査報告書』創建ホーム株式会社・大成エンジニアリング株式会社・東広島市教育委員会，2012年。

（４）東広島市教育委員会から情報提供を受けた。平成10年度実施。

（５）上掲（３）文献と同じ。

（６）妹尾周三1992「安芸地域」『弥生土器の様式と編年』山陽・山陰編，木耳社。

（７）藤野次史・道上康仁1985「安芸南部地域（西条盆地周辺）」『広島県の弥生土器』広島県立歴史民俗資料館。

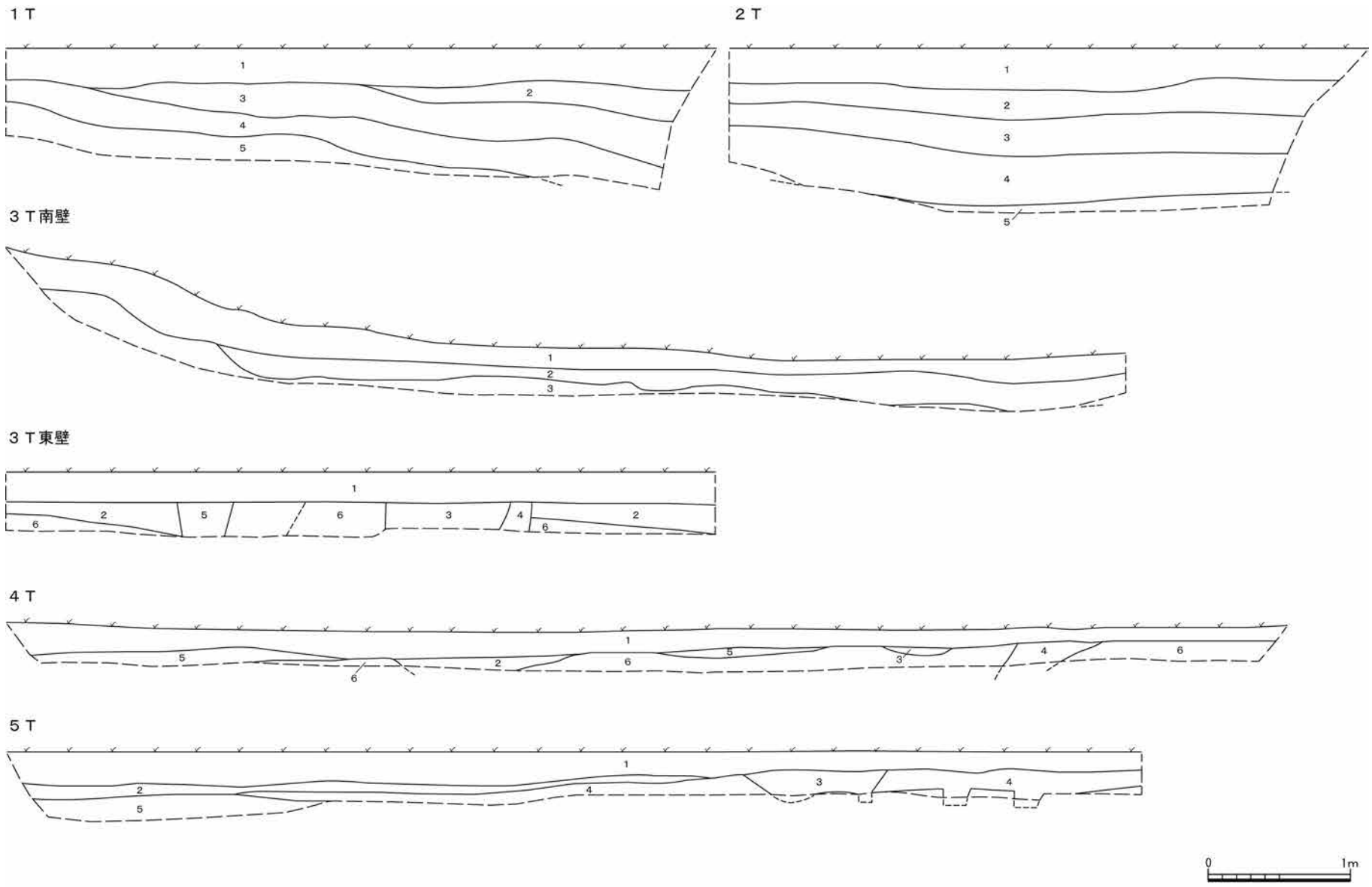
表４　都市計画道路吉行飯田線街路事業計画地試掘坑所見

トレンチ№	規模（長さ×幅×最大深さ，単位m）	調査所見
１Ｔ	5.0×１×1.0	≪東壁≫ １層　耕作土 ２層　灰黄褐色（10YR6/2）シルト質土　上面にマンガン集中　土器細片含む ３層　にぶい黄褐色（10YR4/3）シルト質土 ４層　明褐色（7.5YR5/6）シルト質土 ５層　浅黄橙色（10YR8/4）シルト質土と風化花崗岩礫から成る　地山岩盤
２Ｔ	4.5×１×1.16	≪東壁≫ １層　耕作土 ２層　にぶい黄褐色（10YR4/3）シルト質土　土器細片含む ３層　暗褐色（10YR3/3）シルト質土　しまり強　土器片・炭化物含む ４層　遺物包含層 黒褐色（10YR2/2）シルト質土と暗褐色（10YR3/3）シルト質土の混成　土器片・炭化物含む ５層　褐色（7.5YR4/6）シルト質土　地山の上層
３Ｔ	7.9×１×0.54 ＋ 5.0×１×0.46 L字状	≪南壁≫ １層　表土 ２層　黄褐色（10YR5/8）シルト質土　細砂混 ３層　遺構検出面　明黄褐色（10YR7/6）シルト質土と風化花崗岩ブロックから成る地山 ≪東壁≫ １層　表土 ２層　黄褐色（10YR5/8）シルト質土　細砂混 ３層　褐色（7.5YR4/6）粘質土 ４層　黒褐色（7.5YR3/2）シルト質土 ５層　褐色（7.5YR4/6）シルト質土 ６層　遺構検出面 明黄褐色（10YR7/6）シルト質土と風化花崗岩ブロックから成る地山（南壁３層と同一）
４Ｔ	9.0×１×0.3	≪南壁≫ １層　耕作土 ２層　褐色（7.5YR4/4）粘質土 ３層　褐色（7.5YR4/4）粘質土　細砂混 ４層　明黄褐色（10YR6/6）シルト質土　黒褐色土ブロック・地山砂礫混 ５層　明褐色（7.5YR5/8）粘質土　細砂混 ６層　遺構検出面 明褐色（7.5YR5/6）砂質土と風化花崗岩ブロックから成る　地山

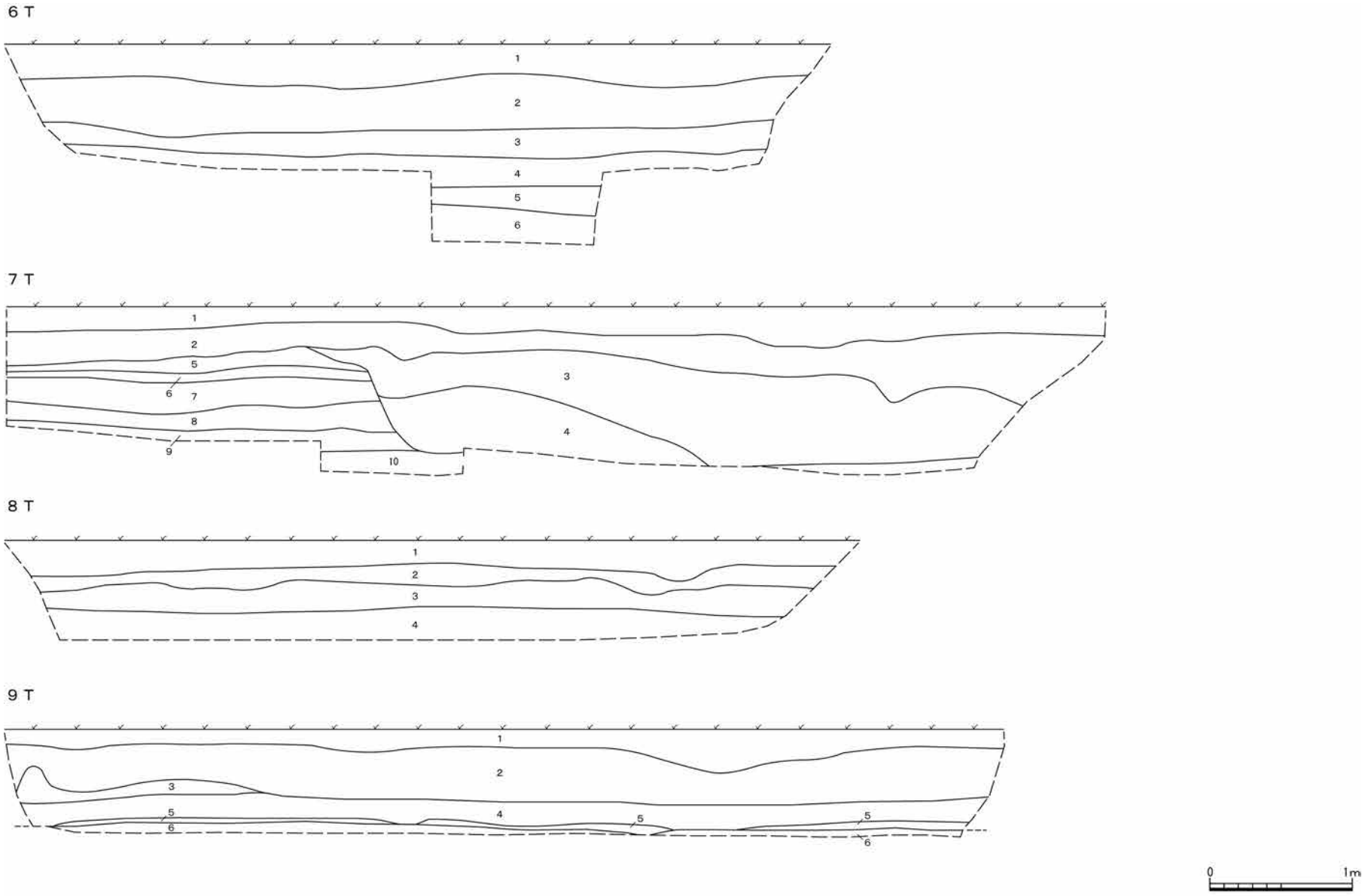
トレンチ№	規模（長さ×幅×最大深さ，単位m）	調査所見
5 T	8.0× 1 ×0.5	〈遺構・遺物なし〉 ≪南東壁≫ １層　表土 ２～４層　耕作・攪乱土 ５層　黄褐色（10YR5/6）シルト質土と風化花崗岩ブロックから成る 　　下層では赤味が薄れにぶい黄褐色（10YR4/3）に変化　地山
6 T	5.8× 1 ×1.4	〈遺構・遺物なし〉 ≪北西壁≫ １層　整地土 ２層　旧耕作土 ３層　オリーブ黒色(7.5Y3/1)シルト質土　細砂混　炭化物含む ４層　黒色(7.5Y2/1)砂質土　シャーベット状　生木片・植物・木炭含む　湧水有 ５層　オリーブ黒色(5Y3/2)砂 ６層　明緑灰色(7.5GY7/1)砂質土　グライ化した地山上層か
7 T	7.7× 1 ×1.2	〈遺構・遺物なし〉 ≪南東壁≫ １層　表土 ２層　整地土 ３・４層　埋立・攪乱土　湧水有 ５層　オリーブ黒色(5Y3/1)シルト質土　細砂混　鉄分・炭化物含む ６層　にぶい黄褐色(10YR5/4)細砂質土　鉄分の横縞有 ７層　にぶい黄褐色(10YR4/3)シルト質土　細砂混　マンガン多く含む ８層　灰黄褐色(10YR4/2)シルト質土　鉄分・マンガンの集中部含む ９層　オリーブ黒色(7.5Y3/2)シルト質土　鉄分含む 10層　明緑灰(7.5GY7/1)粘質土　グライ化した地山上層か（※試掘坑№６の６層に相当）
8 T	6.0× 1 ×0.7	〈遺構・遺物なし〉 ≪北壁≫ １層　表土 ２層　整地土 ３層　埋立・攪乱土 ４層　黄色(2.5Y8/6)シルト質土　粗い砂粒　地山

トレンチ№	規模（長さ×幅×最大深さ，単位m）	調査所見
9Ｔ	7.0×１×0.74	（遺構・遺物なし） ≪東壁≫ １層　表土 ２層　埋立・整地土 ３層　暗灰黄色（2.5Y4/2）シルト質土　細砂混　鉄分含む ４層　暗灰黄色（2.5y5/2）シルト質土　鉄分含む　上面ににぶい黄色（2.5Y6/3）砂が薄く堆積 ５層　黄褐色（2.5Y5/4）シルト質土　しまり強 ６層　明黄褐色（10YR6/8）シルト質土　地山
10Ｔ	7.0×１×1.06	≪南壁≫ １層　表土 ２層　攪乱土 ３層　埋立・整地土 ４層　にぶい黄褐色（10YR5/3）シルト質土　鉄分・マンガン含む ５層　にぶい黄褐色（10YR4/3）シルト質土　土器細片・炭化物含む ６層　黒褐色（10YR3/2）シルト質土　しまり弱　土器細片・鉄分含む ７層　黄褐色（10YR5/8）シルト質土　しまり弱　南西側では水分多く粘質に変化 地山
11Ｔ	13.5×１×0.82	≪南東壁≫ １層　表土・耕作土 ２層　褐色（7.5YR4/4）シルト質土 ３層　黄褐色（10YR5/6）シルト質土　細砂・小礫混　地山の上層 ４層　にぶい黄褐色（10YR5/4）細砂質土　風化岩混　地山
12Ｔ－１	8.8×１×0.3	≪北西壁≫ １層　表土・耕作土 ２a層　暗褐色（10YR3/3）シルト質土　土器細片・炭化物含む　上面に石材 ３層　暗褐色（10YR3/3）シルト質土　土器細片・炭化物含む ４層　遺構検出面 黄褐色（10YR5/6）砂質土　しまり強　礫混　地山

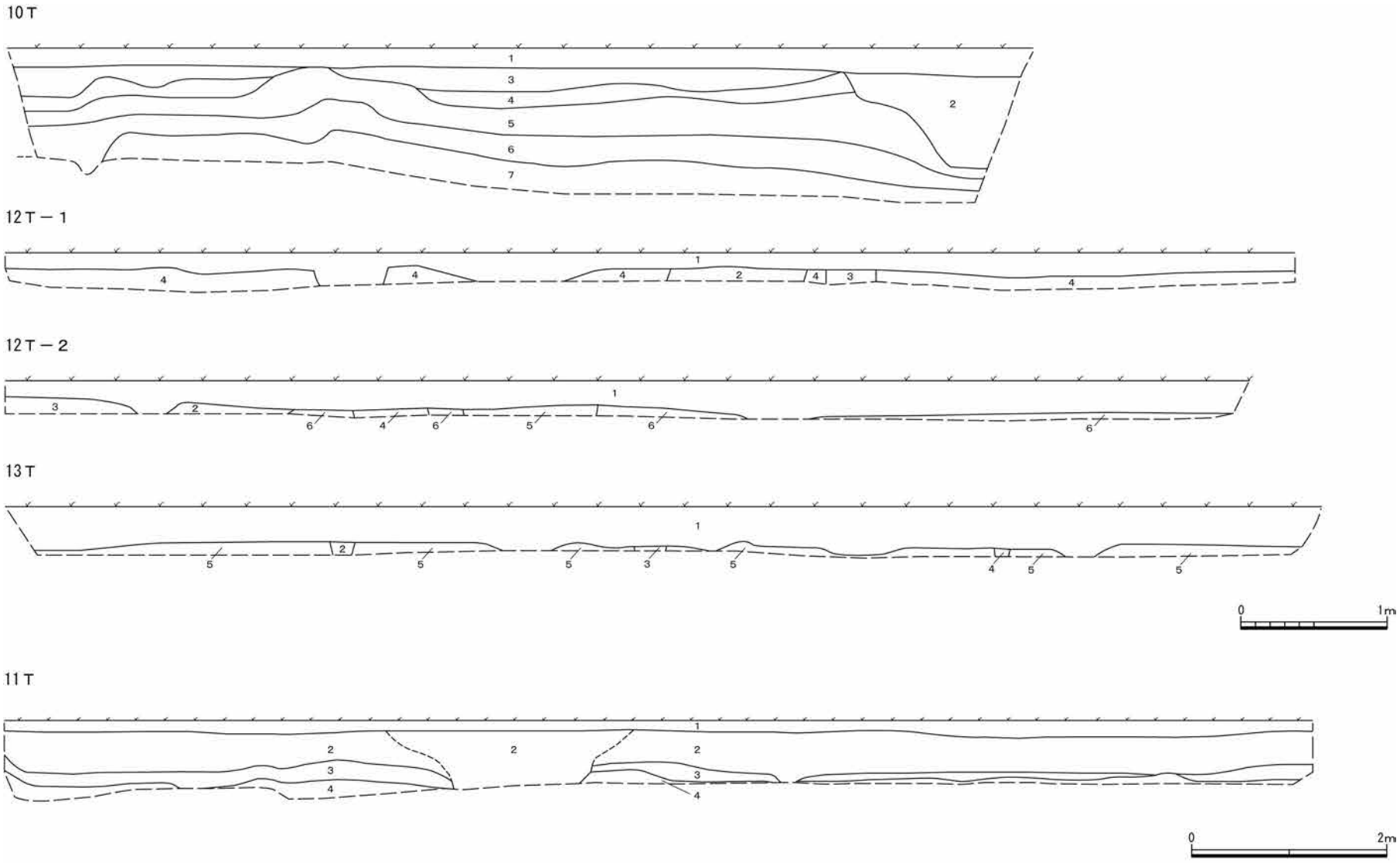
トレンチ№	規模（長さ×幅×最大深さ，単位m）	調査所見
12Ｔ－２	8.5×１×0.26	≪南東壁≫ １層　表土・耕作土 ２層　暗褐色（10YR3/3）シルト質土　細砂・地山ブロック混 ３層　褐色（7.5YR4/4）シルト質土　礫混　土器細片・炭化物含む ４層　明褐色（7.5YR5/6）粘質土 ５層　褐色（7.5YR4/4）シルト質土　土器・炭化物含む　土坑 ６層　遺構検出面 明褐色（10YR5/6）シルト質土　しまり強　砂礫混　地山
13Ｔ	9.0×１×0.34	≪東壁≫ １層　表土・耕作土 ２層　褐色（7.5YR4/3）シルト質土　地山ブロック混 ３層　褐色（7.5YR4/6）シルト質土 ４層　褐色（7.5YR4/4）シルト質土　しまり強 ５層　遺構検出面 明褐色（7.5YR5/8）シルト質土　しまり強　砂混



第４図　都市計画道路吉行飯田線街路事業計画地土層断面図（1：40）



第５図　都市計画道路吉行飯田線街路事業計画地土層断面図（1：40）



第６図　都市計画道路吉行飯田線街路事業計画地土層断面図（10Ｔ・12Ｔ－１・12Ｔ－２・13Ｔは１：40，11Ｔは１：60）

a　１Ｔ（北西から）

b　２Ｔ（南西から）

c　３Ｔ（北東から）

a　３Ｔ遺構検出状況（東から）

b　４Ｔ（北から）

c　４Ｔ遺構検出状況（南西から）

a　５Ｔ（北西から）

b　６Ｔ（南東から）

c　７Ｔ（北西から）

d　８Ｔ（南から）

e　９Ｔ（西から）

f　10Ｔ（北から）

g　11Ｔ（南西から）

h　12Ｔ－１（南東から）

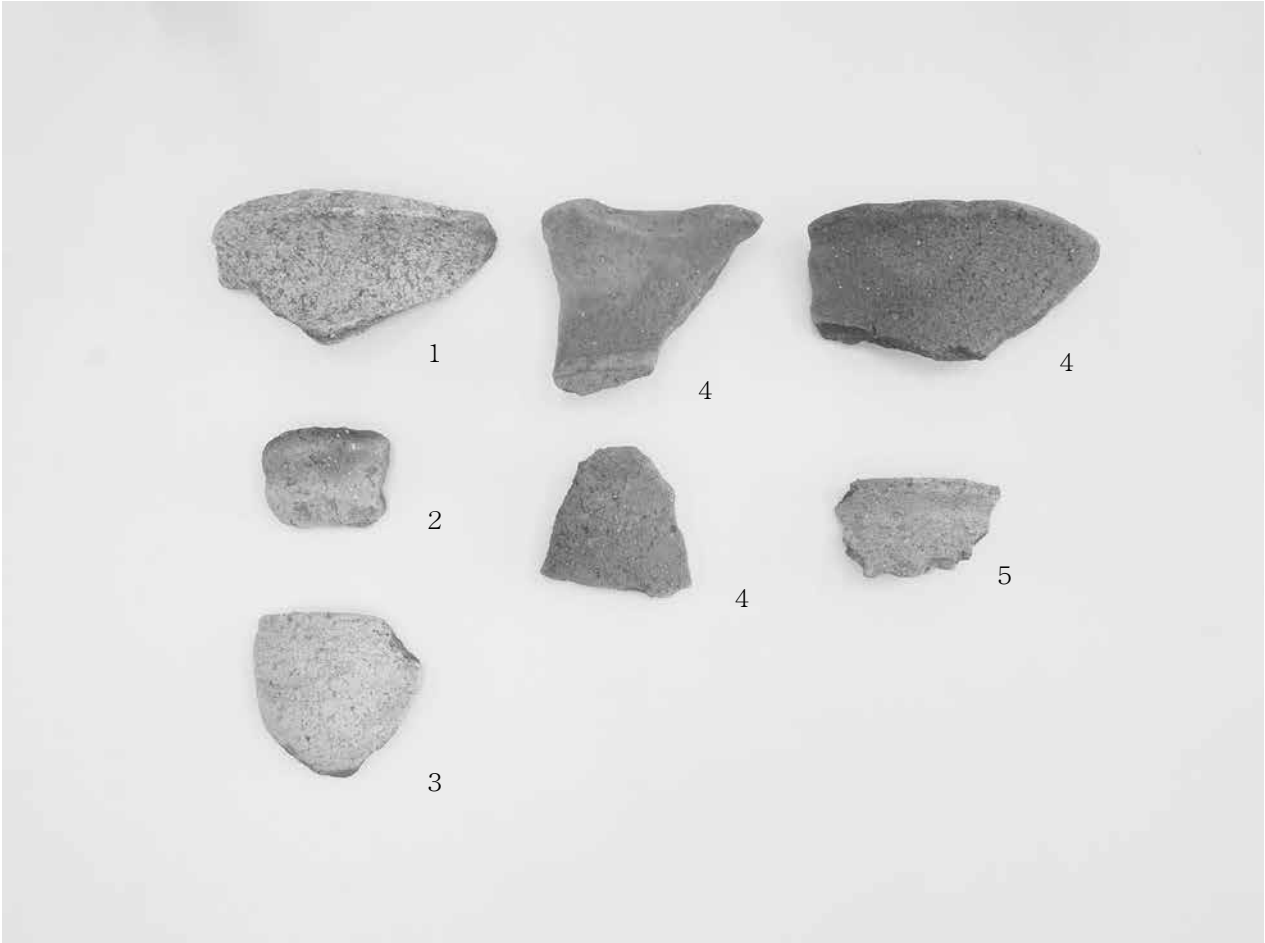
a　12Ｔ－１遺構検出状況（東から）

b　12Ｔ－２（北西から）

c　13Ｔ（北西から）

a　12Ｔ－２遺構検出状況（南から）

b　13Ｔ遺構検出状況（北から）



c　出土遺物（４は同一個体）

２　農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）に係る試掘調査

所　在　地：東広島市高屋町高屋堀

調 査 目 的：農業競争力強化基盤整備事業に係る埋蔵文化財の有無及び範囲確認

開発事業者：広島県西部農林水産事務所

調査年月日：令和４年３月２日～４日，３月７日～11日

調査対象面積：57,039㎡

調 査 結 果：次の埋蔵文化財包蔵地を確認した。

御薗宇城跡（中世，城館跡，面積4,205㎡，６Ｔ，７Ｔ～９Ｔ－２周辺）

新規の埋蔵文化財包蔵地（中世，集落跡，面積2,622㎡，25Ｔ，26Ｔ－１，27Ｔ－１周辺）

調 査 概 要：

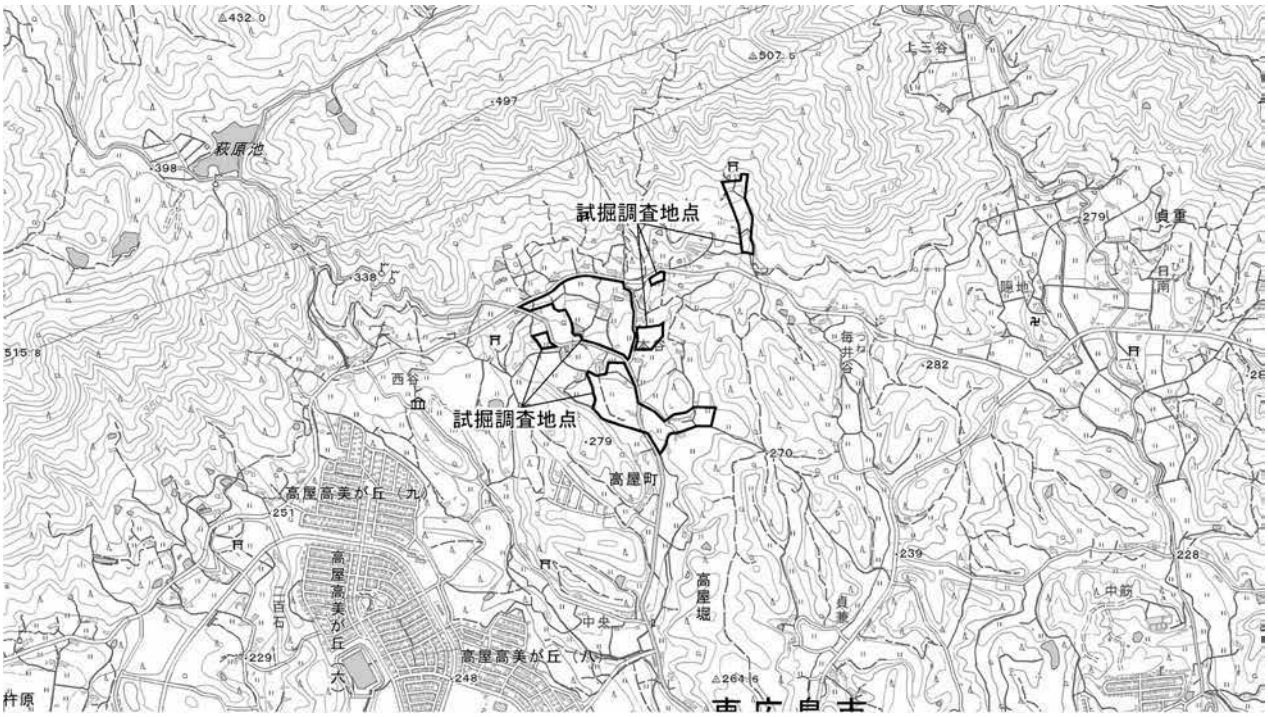
本事業に係る試掘調査は令和２年度から実施している。令和３年度の試掘調査の対象としたのは，次の箇所である。

①広島県史跡平賀氏の遺跡御薗宇城跡の隣接地，付近の斜面地（関連遺構や集落遺跡等が存在する可能性あり）

②広島県史跡平賀氏の遺跡平賀氏の墓地，明道寺跡，塔の岡古墓付近の斜面地（関連遺構や集落遺跡等が存在する可能性あり）

③枯花院古墓付近の斜面地（関連遺構や集落遺跡等が存在する可能性あり）

④円満寺跡の隣接地，付近の斜面地（関連遺構が存在する可能性あり）



第７図　農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）に係る試掘調査地点位置図（1：25,000）
（国土地理院1：25,000地形図「白市」図幅を使用）

試掘調査では，重機により計52か所（１Ｔ－２・３，２Ｔ－２，３Ｔ－２，５Ｔ，６Ｔ－２，12Ｔ－１～18Ｔ－２，25Ｔ～49Ｔ－２）を掘削した。

試掘調査は複数職員が分散し同時並行で行ったことから，記録の混乱を避けるため事前に計画した試掘坑に番号を割り振った。試掘坑番号は昨年度からの連番としており，試掘開始後の状況に応じて追加した試掘坑には枝番号を付している。

基本層序は，次のとおりである。

Ⅰ層・・水田耕作土，床土，近世以降のほ場整備に伴う整地土

Ⅱ層・・黒色ないし黒褐色のシルト。今年度試掘範囲に部分的に認められる。現在の水田耕作土，水田造成時整地層の直下に認められ，近世以前の遺物を包含する上，下面は水平堆積でなく元の自然地形の表層を覆うように堆積していることから，水田の本格的開発が進む前に形成された表土（腐植土）あるいはその再堆積層の可能性が高い。

Ⅲ層・・自然堆積層（花崗岩風化分解土等の水成・風成堆積物）

Ⅳ層・・基盤層（花崗岩風化岩盤）

令和３年度試掘調査では，御薗宇城跡の南側隣接地において，関連遺構（堀跡）の範囲を確定した。また，御薗宇城跡付近の北側斜面地に設定した25Ｔと27Ｔ－１で遺構を確認した。北側からのびる細尾根上に立地した中世以前の小規模集落跡と考えられ，新規の埋蔵文化財包蔵地（遺跡名称未確定）と判断した。

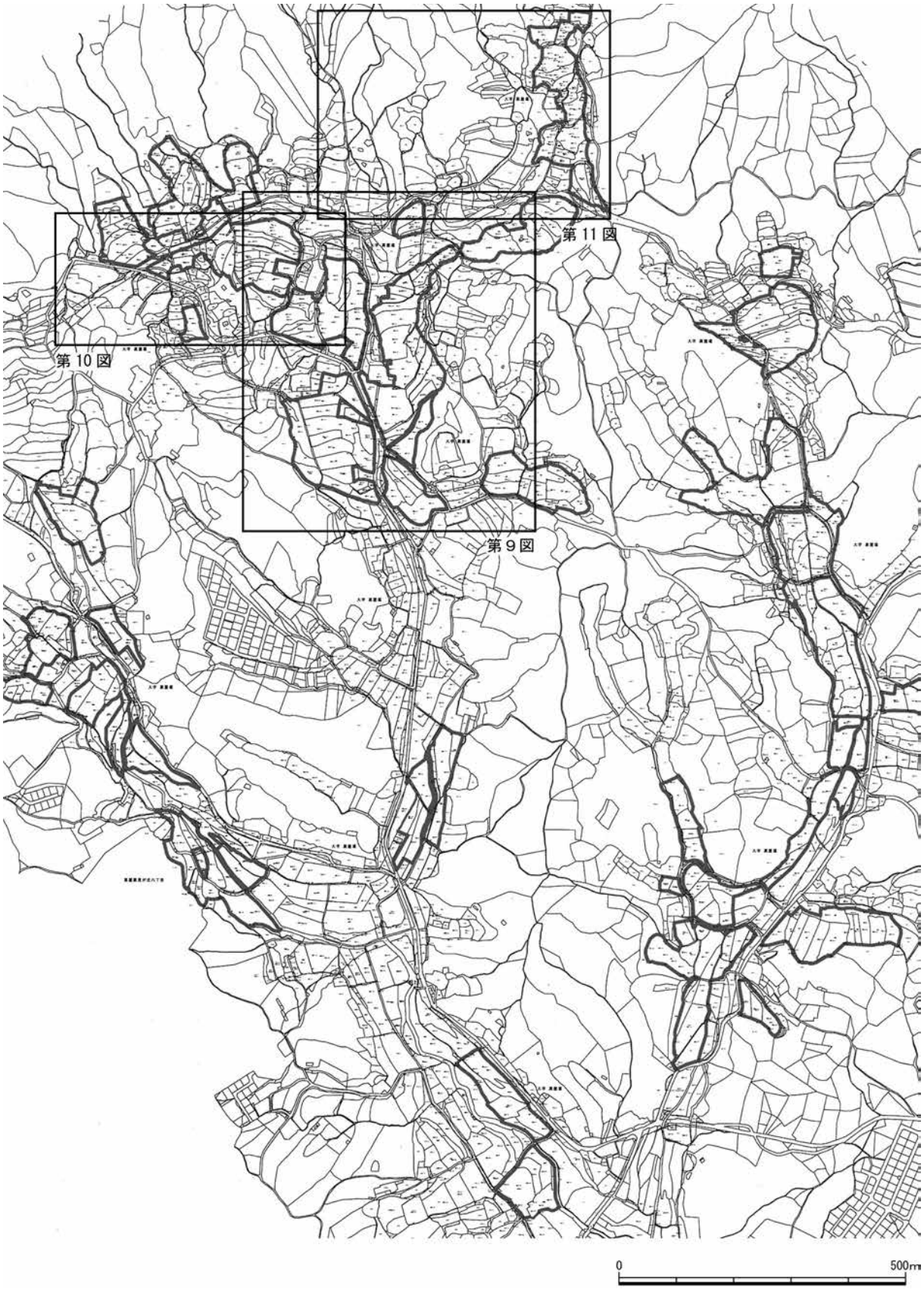
以下，令和３年度試掘調査各地点の詳細を記載する。

御薗宇城跡の東側～南側隣接地（１Ｔ－２・３，２Ｔ－２，３Ｔ－２，５Ｔ，６Ｔ－２）

埋蔵文化財包蔵地（御薗宇城跡）を確認した。令和２年度試掘調査において，御薗宇城跡西側隣接地（19Ｔ－１～20Ｔ－２）でその関連遺構（堀跡）を確認した。また，東側～南側隣接地（１Ｔ－１，２Ｔ－１，３Ｔ－１，６Ｔ―１，７Ｔ～９Ｔ－２）でも地山岩盤の急激な落ち込み，立ち上がり及び平坦面を確認したが，令和３年度の追加調査によって遺構範囲等を判断することとしていた[1]。

令和３年度は，令和２年度試掘坑の周辺部に試掘坑５か所を設定して追加調査を行ったが，遺構・遺物は確認できなかった。城跡の東側隣接地（１Ｔ－２，２Ｔ－２，３Ｔ－２）は，北側から続く谷の範囲に含まれる。耕作土及び水田造成に伴う近現代盛土が50～140cmの厚さで確認され，下位では谷斜面部から谷底にかけての堆積土及び基盤層（花崗岩風化土）となり，いずれも還元気味の色調であった。城跡の南側隣接地（５Ｔ，６Ｔ－２）では，耕作土及び水田造成に伴う近現代客土が50～70cm程度の厚さで確認でき，下位では砂が複数層にわたって堆積していた。これより上方の試掘坑でみられたような有意な地形の変化や遺構・遺物は確認できなかった。

以上，令和２・３年度の試掘調査結果を総合した結果は次のとおりである。城跡の南側隣接地は，西側隣接地で確認した堀跡との連続性等を考慮し，令和２年度６Ｔ，７Ｔ，８Ｔ－１・２，９Ｔ－１・２の設定範囲周辺を埋蔵文化財包蔵地と判断した。城跡の東側隣接地は，埋蔵文化財包蔵地ではないと判断した。



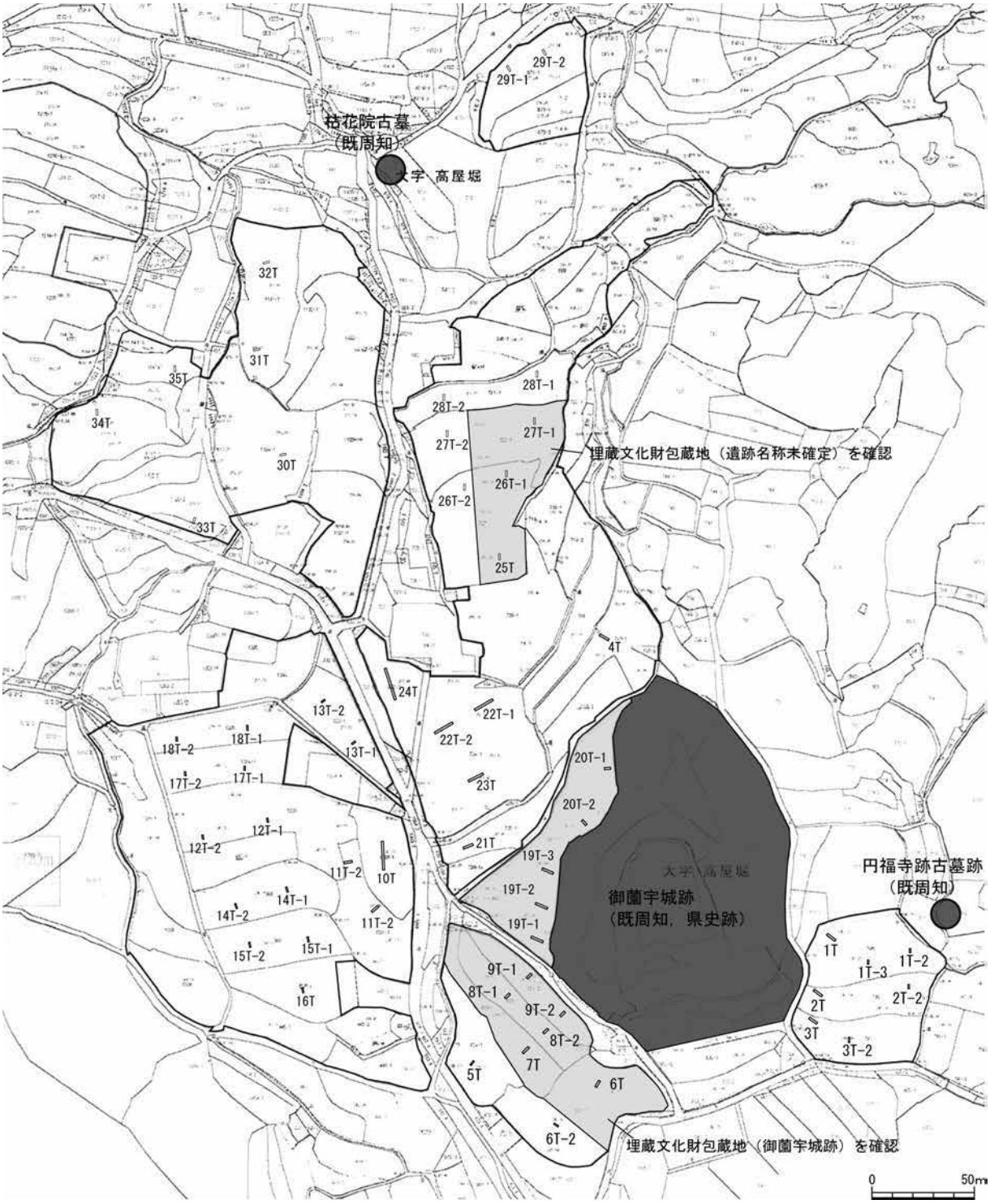
第８図　農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地全体図（１：10,000）

御薗宇城跡付近の北側斜面地（25Ｔ～28Ｔ－２）

新規の埋蔵文化財包蔵地（遺跡名称未確定）を確認した。25Ｔから28Ｔ－２周辺は北から南に下る棚田を形成しているが，旧地形は谷と細尾根が入り組む地形と考えられる。

25Ｔでは中世の土師質土器を含む遺物包含層（Ⅱａ層）を掘り下げると，ピット状の遺構を複数検出した。

遺物包含層から出土した土師質土器には，完形に近い皿や杯もあり，原位置から大きく動いていな



第９図　農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地試掘坑位置図（1：3,000）

いものと思われる。遺構から土器等が出土していないため，遺構の時期は不明である。25Ｔ南側に隣接する水田は，現地形で25Ｔを入れた田より2.0m近く低くなっている。25Ｔの遺構検出面の高さを考慮すると，25Ｔ南側に隣接する水田では，後世の削平によって中世以前の遺構は残存していないものと考えられる。よって，遺跡範囲の南端は25Ｔを入れた水田までであると判断した。

26Ｔ－１・27Ｔ－１は，25Ｔと同様の状況だが，26Ｔ－２・27Ｔ－２では，中世の土器細片を含む再堆積層下位からグライ化した自然堆積層を検出し，谷地形であることを確認した。

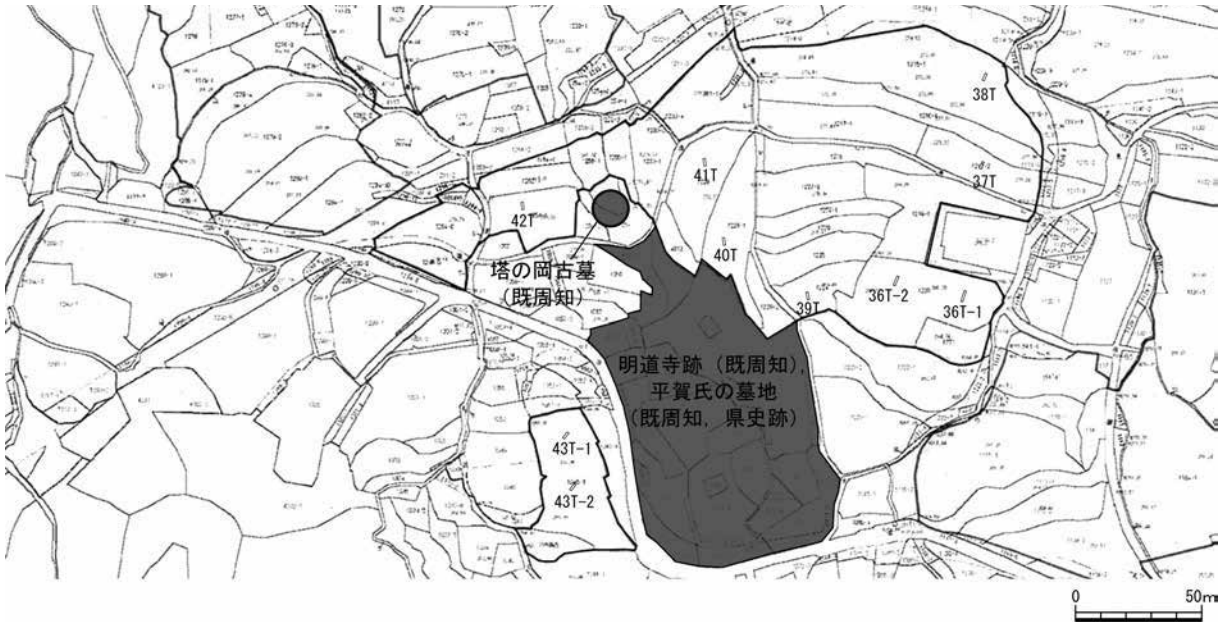
28Ｔ－１は，中世土器の細片を含む再堆積層（Ⅱａ層）下位に中世以前の旧表土と考えられる層（Ⅱｂ層）を確認したが，草木によるかくらん痕が著しく，Ⅲ層上面でも遺構は検出されなかった。このことから，28Ｔ－１まで遺跡が広がる可能性は低く，遺跡の北端は27Ｔを入れた水田までであると判断した。28Ｔ－２では，グライ化した自然堆積層（Ⅲ層）を検出し，谷地形であることを確認した。

以上のことから，25Ｔ，26Ｔ－１，27Ｔ－１の設定範囲周辺を新規の埋蔵文化財包蔵地（遺跡名称未確定）と判断した。

御薗宇城跡付近の西側斜面地（12Ｔ－１～18Ｔ－２，30Ｔ～35Ｔ）

埋蔵文化財包蔵地は確認されなかった。試掘坑19か所いずれにおいても遺構は確認できず，遺物は16Ｔ耕作土や35Ｔ自然堆積層で土器細片を確認したのみであった。現状では主に東西に長い田が階段状に連なり，南に向かって下降する地形に造成されている。現在は南向きの広い緩斜面だが，各試掘坑の状況から，旧地形は細尾根と流水・帯水を伴う谷部・低位部が入り組む，起伏の大きな地形であったと考えられる。

12Ｔ－２，17Ｔ－２・32Ｔ～34Ｔでは現地表下50cm以下，18Ｔ－２・30Ｔ・31Ｔでは現地表下100cm以下で基盤層（風化花崗岩岩盤）を確認した。その他11か所の試掘坑では，現地表下140～170cmまで掘り下げても基盤層は確認できず，下層では湧水があるか，還元気味の色調となる水分量の多い軟質な泥や砂が堆積し，同時に，これらの試掘坑では相対的に客土が厚く盛られていた。



第10図　農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地試掘坑位置図（1：3,000）

枯花院古墓付近の東側斜面地（29Ｔ－１・２）

埋蔵文化財包蔵地は確認されなかった。試掘坑２か所いずれにおいても遺構・遺物はなかった。

29Ｔ－１・２では，現在の水田造成に伴う土層下位から時期不明の旧表土（Ⅱ層）を検出したが，草木による攪乱痕が著しく，人為的な痕跡は旧表土およびその下の基盤層からも検出されなかった。

平賀氏の墓地，明道寺跡，塔の岡古墓付近の東側斜面地（36Ｔ－１～41Ｔ）

埋蔵文化財包蔵地は確認されなかった。試掘坑７か所いずれにおいても遺構・遺物はなかった。御薗宇城跡の西側斜面地同様，現在は南向きの広い緩斜面だが，旧地形は細尾根と流水・帯水を伴う谷部・低位部が入り組む，起伏の大きな地形であったと考えられる。

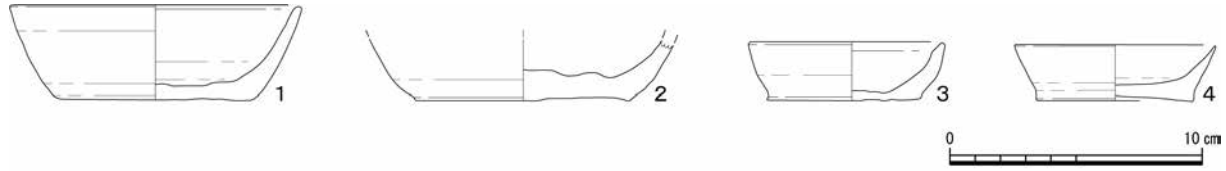
40Ｔは50cm現地表下50cm以下で基盤層（風化花崗岩岩盤）を確認した。36Ｔ－１～39Ｔ・41Ｔでは現地表下100cm以下まで掘り下げても基盤層は確認できず，下層では湧水があるか，還元気味の色調となる水分量の多い軟質な泥や砂が堆積し，同時に，これらの試掘坑では相対的に客土が厚く盛られていた。

平賀氏の墓地，明道寺跡，塔の岡古墓付近の西側斜面地（42Ｔ～43Ｔ－２）

埋蔵文化財包蔵地は確認されなかった。試掘坑３か所いずれにおいても遺構・遺物はなかった。

42Ｔは地表下50cm以下で基盤層（風化花崗岩岩盤）を確認した。43Ｔ－１・２では，現在の水田造成に伴う土層下位から時期不明の旧表土（Ⅱ層）を検出したが，草木による攪乱痕が著しく，人為的な痕跡は旧表土およびその下の基盤層からも検出されなかった。

第11図　農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地試掘坑位置図（1：3,000）



第12図　農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地出土遺物実測図（1：3）

円満寺跡の隣接地，付近の斜面地（44Ｔ－１～49Ｔ－２）

埋蔵文化財包蔵地は確認されなかった。試掘坑８か所いずれにおいても遺構・遺物は確認できなかった。現状では計画地北端の最高所に所在する円満寺跡を起点に，宅地や旧耕地が階段状に，南に向かって下降する地形に造成されているが，次の理由から，本来の基本地形は斜面地であり，一部は流水を伴う谷部であったと考えられる。５か所のトレンチにおいて地表下40～110cm以下で，南に傾斜する基盤層（花崗岩風化土）を確認したが，46Ｔ，49Ｔ－１・２では，地表下70～140cmまで掘り下げても基盤層は確認できなかった。基盤層からみた傾斜の急な地点ほど造成のための盛土が厚く行われていた。47Ｔ，49Ｔ－１では比較的浅い層から湧水があり，土色は還元気味であった。周辺地形の観察結果と合わせて，47Ｔは東側を流れる谷川を，49Ｔ－１は北側から抜ける谷川を近現代に埋めた土地と考えられる。また，49Ｔ－１・２は現地表が同じ高さであるが，泥層の検出レベルが49Ｔ－２では約30cm低くなる。南への傾斜とともに西にも傾斜する地形であったと考えられる。

出 土 遺 物：

いずれも土師質土器であり，試掘坑25ＴのⅡａ層から出土した。

１は杯である。口縁部復元径11.6cm，底径7.7cm，器高3.7cm，色調は内面がにぶい褐色（7.5YR6/3），外面が橙色（7.5YR7/6）を呈する。体部は直立気味に立ち上がり，口縁端部は面取りがされている。内外面とも回転ナデ調整であり，底部は時計回りの回転糸切り痕が残る。

２は杯の底部である。底径8.6cm，残存高2.4cm，色調は内外面とも橙色（5YR6/6）を呈する。内外面とも回転ナデ調整であり，底部は時計回りの回転糸切り痕が残る。

３は小皿である。口径7.8cm，底径6.2cm，器高2.3cm，色調は内外面とも橙色（7.5YR6/6）を呈する。内外面とも回転ナデ調整であり，底部は時計周りの回転糸切り痕が残る。

４は小皿である。口径8.0cm，底径6.2cm，器高2.2cm，色調は内外面とも橙色（7.5YR6/6）を呈する。内外面とも回転ナデ調整であり，底部は時計回りの回転糸切り痕が残る。

これらの土器は型式学的特徴からみて13世紀末～15世紀前半に属するものと考えられる[(2)(3)(4)]。

註

（１）『令和２年度広島県内遺跡発掘調査（詳細分布調査）報告書』広島県教育委員会，2022年。

（２）吉野健志 1998「安芸国中世の土師質土器」『文化財論究』第１集（財）東広島市教育文化振興事業団

（３）永田千織・藤野次史 2014「安芸地方における土師質土器坏・皿類の研究（上）」『広島大学埋蔵文化財調査研究紀要』５号 広島大学総合博物館埋蔵文化財調査部門

（４）永田千織・藤野次史 2015「安芸地方における土師質土器坏・皿類の研究（下）」『広島大学埋蔵文化財調査研究紀要』６号 広島大学総合博物館埋蔵文化財調査部門

表5　農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地試掘坑所見

トレンチ No.	規模（長さ×幅×最大深さ，単位m）	調査所見
１Ｔ－２	2.0×0.6×1.5 東壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/1） Ⅰｂ層　耕作土　褐灰色細砂質シルト（10YR4/1）雲母片含む Ⅰｃ層　近現代盛土　灰色砂質土（5Y4/1）銀色鉱物片・生木・大礫含む Ⅳ　層　基盤層（花崗岩風化土）　灰色シルト（10Y6/1）グライ化　軟質（湧水のため掘削停止）
１Ｔ－３	2.0×0.6×1.3 西壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/1） Ⅰｂ層　耕作土　褐灰色細砂質シルト（10YR4/1）雲母片含む Ⅰｃ層　水田床土　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）褐色シルト土粒・雲母片含む Ⅲａ層　にぶい黄褐色シルト（10YR5/3）雲母片含む Ⅲｂ層　灰黄褐色細砂質シルト（10YR5/2）褐色シルト土粒・雲母片含む Ⅲｃ層　にぶい黄褐色シルト（10YR5/3）雲母片含む Ⅲｄ層　にぶい黄褐色シルト（10YR4/3）明褐色粘質土粒・雲母片含む Ⅳ　層　基盤層（花崗岩風化土）　褐色シルト（7.5YR4/6）にぶい黄橙色砂質土粒まばらに含む　雲母片含む　軟質　水分量多い
２Ｔ－２	2.0×0.6×1.0 西壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/1） Ⅰｂ層　耕作土　褐灰色細砂質シルト（10YR4/1）雲母片含む Ⅰｃ層　水田床土　褐色細砂質シルト（10YR4/4）雲母片含む　硬質 Ⅰｄ層　水田床土　にぶい黄褐色シルト（10YR5/3）雲母片多量に含む Ⅲａ層　にぶい黄褐色細砂質シルト（10YR5/3）暗褐色土粒含む Ⅲｂ層　灰黄褐色砂質土（10YR5/2）酸化鉄まばらに観察可能 Ⅲｃ層　褐色砂（7.5Y4/6） Ⅳ　層　基盤層（花崗岩風化土）　灰色シルト（10Y6/1）グライ化　軟質　（湧水のため掘削停止）
３Ｔ－２	2.5×0.6×1.1 西壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/1） Ⅰｂ層　耕作土　褐灰色細砂質シルト（10YR4/1）雲母片含む Ⅰｃ層　水田床土　褐色細砂質シルト（10YR4/4）雲母片含む　硬質 Ⅰｄ層　水田床土　にぶい黄褐色シルト（10YR5/3）雲母片多量に含む Ⅲａ層　灰黄褐色シルト（10YR4/2）雲母片含む Ⅲｂ層　灰色細砂質シルト（10Y5/1）明褐色粘質土粒含む　グライ化　軟質　水分量多い Ⅲｃ層　オリーブ灰色細砂質シルト（10Y5/2）一部粘質化　明褐色粘質土粒多量に含む　グライ化　軟質　水分量多い Ⅳ　層　暗灰黄色砂質土（2.5Y5/2）黄褐色砂質土粒まばらに含む　雲母片含む　軟質　水分量多い

トレンチ№	規模（長さ×幅×最大深さ，単位m）	調査所見
５Ｔ	2.5×0.6×1.4 南東壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/1） Ⅰｂ層　耕作土　灰黄褐色細砂質シルト（10YR4/2） Ⅰｃ層　水田床土　黒褐色細砂質シルト（10YR3/3） Ⅰｄ層　水田床土　褐色砂質土（7.5YR4/4） Ⅲａ層　黒褐色シルト（7.5YR3/1）しまり悪くブロック状にほぐれる Ⅲｂ層　黒褐色シルト（10YR3/2）酸化鉄顕著に観察可能 Ⅲｃ層　にぶい黄橙色砂（10YR7/3） Ⅲｄ層　灰黄褐色砂質土（10YR5/2）雲母片含む　酸化鉄観察可能 Ⅲｅ層　にぶい黄褐色砂質土（10YR5/3） Ⅲｆ層　黒褐色砂質土（10TR3/2）3mm 大の礫を含む Ⅲｇ層　黒色砂質土（10YR1.7/1）黄橙色シルト（10YR7/8）ブロックわずかに含む Ⅲｈ層　灰黄褐色砂質土（10YR4/2） Ⅲｉ層　褐灰色シルト（10YR4/1）一部粘質化 Ⅲｊ層　黒褐色砂質土（10YR3/1）
６Ｔ－２	2.5×0.6×1.0 北壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/1） Ⅰｂ層　耕作土　灰黄褐色細砂質シルト（10YR4/2） Ⅰｃ層　水田床土　にぶい黄褐色細砂質シルト（10YR5/4）明褐色シルト土粒多量に含む　雲母片含む Ⅲａ層　にぶい黄褐色細砂質シルト（10YR5/3）雲母片含む　マンガン粒まばらに観察可能 Ⅲｂ層　暗褐色シルト（10YR3/3）雲母片含む　マンガン粒まばらに観察可能　しまり悪くブロック状にほぐれる Ⅲｃ層　にぶい黄褐色砂質土（10YR5/3） Ⅲｄ層　明黄褐色砂質土（10YR7/6）水平ラミナ観察可能 Ⅳ　層　基盤層（花崗岩風化土）　明黄褐色砂質土（10YR6/6）
12Ｔ－１	2.0×0.6×1.5 西壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/1）土器細片含む Ⅰｂ層　耕作土　黒褐色細砂質シルト（10YR3/2） Ⅰｃ層　水田床土　灰黄褐色細砂質シルト（10YR4/2）明黄褐色砂多量に混じる花崗岩礫・雲母片含む Ⅰｄ層　灰黄褐色細砂質シルト（10YR4/2） Ⅲａ層　にぶい黄褐色細砂質シルト（10YR4/3） Ⅲｂ層　黒褐色シルト（10YR3/1）黄褐色粘質土粒まばらに含む Ⅲｃ層　黒色粘質土（10YR1.7/1）藁・銀色鉱物片含む　軟質　水分量多い（湧水のため掘削停止）

トレンチ№	規模（長さ×幅×最大深さ，単位m）	調査所見
12T－2	1.8×0.6×1.0 西壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/1）土器細片含む Ⅰｂ層　耕作土　黒褐色細砂質シルト（10YR3/2） Ⅰｃ層　水田床土　灰黄褐色細砂質シルト（10YR4/2）明黄褐色砂多量に混じる　花崗岩礫・雲母片含む Ⅲ　層　灰黄褐色細砂質シルト（10YR5/2）雲母片含む Ⅳ　層　基盤層（花崗岩岩盤）　にぶい黄橙色（10YR6/4）
13T－1	2.0×0.6×1.5 東壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ⅰｂ層　耕作土　灰黄褐色シルト（10YR4/2）褐色シルト土粒・礫含む Ⅰｃ層　近現代盛土　褐灰色シルト（10YR4/1）明褐色シルト土粒・礫・ビニール紐含む Ⅰｄ層　近現代盛土　黒色シルト（10YR2/1）銀色鉱物片含む Ⅰｅ層　近現代盛土　灰色シルト（10Y4/1）褐色シルト土粒・銀色鉱物片含む Ⅰｆ層　近現代盛土　黒色粘質土（10YR2/1）生木・藁含む　軟質　水分量多い Ⅲ　層　黒褐色シルト（10YR3/1）一部粘質化　銀色鉱物片・藁含む　軟質　水分量多い
13T－2	2.0×0.6×1.7 東壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ⅰｂ層　耕作土　灰黄褐色シルト（10YR4/2）褐色シルト土粒・礫含む Ⅰｃ層　近現代盛土　褐色シルト（10YR4/4）と明黄褐色砂（10YR6/8）が混じる Ⅰｄ層　近現代盛土　灰黄褐色細砂質シルト（10YR5/2） Ⅰｅ層　近現代盛土　灰黄褐色砂質土（10YR6/2）明黄褐色砂ブロック含む Ⅰｆ層　近現代盛土　灰黄褐色シルト（10YR5/2）明黄褐色砂ブロック含む Ⅰｇ層　近現代盛土　灰黄褐色シルト（10YR4/2）明黄褐色砂ブロック含む Ⅲａ層　褐灰色シルト（10YR4/1）一部粘質化　酸化鉄まばらに観察可能 Ⅲｂ層　黒褐色粘質土（10YR3/1）軟質　水分量多い Ⅲｃ層　黒色粘質土（10YR2/1）生木・藁含む　軟質　水分量多い Ⅲｄ層　黒褐色シルト（10YR3/1）一部粘質化　銀色鉱物片・藁含む　軟質　水分量多い
14T－1	2.5×0.6×1.4 西壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/1）土器細片含む Ⅰｂ層　耕作土　黒褐色細砂質シルト（10YR3/2） Ⅰｃ層　水田床土　灰黄褐色細砂質シルト（10YR4/2）明黄褐色砂多量に混じる花崗岩礫・雲母片含む Ⅲａ層　灰黄褐色シルト（10YR4/2）雲母片・炭化物含む Ⅲｂ層　にぶい黄褐色シルト（10YR4/3）上面に鉄分が集中　雲母片含む Ⅲｃ層　黒褐色細砂質シルト（10YR3/2） Ⅲｄ層　黒褐色粘質土（10YR3/1）銀色鉱物片含む　軟質　水分量多い

トレンチ No.	規模（長さ×幅×最大深さ，単位m）	調査所見
14Ｔ－１	2.5×0.6×1.4 西壁	Ⅲｅ層　にぶい黄橙色砂（10YR7/3）雲母片含む Ⅲｆ層　黒色粘質土（10YR1.7/1）軟質　水分量多い　（湧水のため掘削停止）
14Ｔ－２	2.5×0.6×1.6 西壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/1）土器細片含む Ⅰｂ層　耕作土　黒褐色細砂質シルト（10YR3/2） Ⅰｃ層　水田床土　灰黄褐色細砂質シルト（10YR4/2）明黄褐色砂多量に混じる花崗岩礫・雲母片含む Ⅲａ層　灰黄褐色細砂質シルト（10YR4/2） Ⅲｂ層　褐灰色シルト（10YR4/1）銀色鉱物片含む Ⅲｃ層　灰黄褐色シルト（10YR4/2）砂の集中部あり Ⅲｄ層　灰黄褐色シルト（10YR4/2） Ⅲｅ層　褐灰色細砂質シルト（7.5YR4/1）褐色砂ブロックまばらに含む Ⅲｆ層　黒褐色細砂質シルト（10YR3/2）褐色砂ブロックまばらに含む Ⅲｇ層　黒色シルト（10YR2/1）銀色鉱物片含む Ⅲｈ層　にぶい黄橙色砂（10YR7/3）雲母片含む Ⅲｉ層　黒褐色細砂質土（10YR3/1） Ⅲｊ層　明黄褐色砂（10YR7/6） Ⅲｋ層　黒褐色細砂質土（10YR3/1）銀色鉱物片含む Ⅲｌ層　にぶい黄橙色砂（10YR7/3）
15Ｔ－１	2.5×0.6×1.7 東壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/1）土器細片含む Ⅰｂ層　耕作土　黒褐色細砂質シルト（10YR3/2） Ⅰｃ層　水田床土　灰黄褐色細砂質シルト（10YR4/2）明黄褐色砂多量に混じる花崗岩礫・雲母片含む Ⅲａ層　灰黄褐色シルト（10YR4/2）雲母片・炭化物含む Ⅲｂ層　にぶい黄褐色シルト（10YR4/3）上面に鉄分が集中　雲母片含む Ⅲｃ層　黒褐色細砂質シルト（10YR3/2） Ⅲｄ層　黒褐色粘質土（10YR3/1）銀色鉱物片含む　軟質　水分量多い Ⅲｅ層　にぶい黄橙色砂（10YR7/3）雲母片含む Ⅲｆ層　灰黄褐色砂（10YR4/2） Ⅲｇ層　褐灰色砂質土（10YR4/1） Ⅲｈ層　黒色砂質土（10YR2/1）にぶい黄橙色土粒まばらに含む Ⅲｉ層　黒褐色細砂質シルト（10YR3/2）腐朽木・銀色鉱物片含む　軟質　水分量多い

トレンチ No.	規模（長さ×幅×最大深さ，単位m）	調査所見
15T－2	2.5×0.6×1.7 東壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/1）土器細片含む Ⅰｂ層　耕作土　黒褐色細砂質シルト（10YR3/2） Ⅰｃ層　水田床土　灰黄褐色細砂質シルト（10YR4/2）明黄褐色砂多量に混じる　花崗岩礫・雲母片含む Ⅲａ層　灰黄褐色シルト（10YR4/2）雲母片・炭化物含む Ⅲｂ層　にぶい黄褐色シルト（10YR4/3）明褐色シルト土粒含む Ⅲｃ層　にぶい黄褐色シルト（10YR4/3）上面に鉄分が集中　雲母片含む Ⅲｄ層　黒褐色細砂質シルト（10YR3/2） Ⅲｅ層　黒褐色砂質土（10YR3/2）と浅黄色砂（2.5Y7/3）が混じる　南側ほど砂の比率が増す　川砂か Ⅲｆ層　黒褐色砂質土（10YR3/2）銀色鉱物片含む Ⅲｇ層　浅黄色砂（10Y2.5）川砂か Ⅲｈ層　黒色砂質土（10YR2/1）にぶい黄橙色土ブロックまばらに含む Ⅲｉ層　にぶい黄橙色砂（10YR7/3）川砂か
16T	2.5×0.6×1.6 東壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/1）土器細片含む Ⅰｂ層　耕作土　黒褐色細砂質シルト（10YR3/2） Ⅰｃ層　水田床土　灰黄褐色細砂質シルト（10YR4/2）明黄褐色砂多量に混じる花崗岩礫・雲母片含む Ⅲａ層　灰黄褐色シルト（10YR4/2）雲母片・炭化物含む Ⅲｂ層　にぶい黄褐色シルト（10YR4/3）上面に鉄分が集中　雲母片含む Ⅲｃ層　黒褐色シルト（10YR3/2）明黄褐色砂まばらに含む　雲母片含む Ⅲｄ層　黒褐色粘質土（10YR3/1）銀色鉱物片含む　軟質　水分量多い Ⅲｅ層　灰黄褐色砂（10YR4/2） Ⅲｆ層　黒褐色粘質土（10YR3/1）上面波打つ　雲母片含む Ⅲｇ層　灰黄褐色砂質土（10YR4/2） Ⅲｈ層　黒褐色細砂質シルト（10YR3/2）腐朽木・銀色鉱物片含む　軟質　水分量多い
17T－1	2.0×0.6×1.6 東壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/1）土器細片含む Ⅰｂ層　耕作土　黒褐色細砂質シルト（10YR3/2） Ⅰｃ層　水田床土　灰黄褐色細砂質シルト（10YR4/2）明黄褐色砂多量に混じる　花崗岩礫・雲母片含む Ⅲａ層　灰黄褐色シルト（10YR4/2）雲母片含む　明褐色シルト土粒まばらに含む Ⅲｂ層　黒褐色シルト（10YR3/2）雲母片・炭化物含む　軟質　水分量多い Ⅲｃ層　オリーブ黒色シルト（7.5Y3/1）銀色鉱物片含む Ⅲｄ層　黒色粘質土（10YR1.7/1）藁・銀色鉱物片含む　軟質　水分量多い Ⅲｅ層　灰黄褐色砂（10YR6/2）生木・藁含む　（湧水のため掘削停止）

トレンチ No.	規模（長さ×幅×最大深さ，単位m）	調査所見
17T－2	2.0×0.6×1.6 東壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/1）土器細片含む Ⅰｂ層　耕作土　黒褐色細砂質シルト（10YR3/2） Ⅰｃ層　水田床土　にぶい黄褐色細砂質シルト（10YR4/3）雲母片含む Ⅰｄ層　灰黄褐色細砂質シルト（10YR4/2）明黄褐色砂多量に混じる　花崗岩礫・雲母片含む Ⅲａ層　にぶい黄褐色シルト（10YR4/3）雲母片含む　褐色シルト土粒まばらに含む Ⅲｂ層　暗褐色シルト（10YR3/3）褐色シルト土粒・雲母片含む Ⅳ　層　基盤層（花崗岩風化岩盤）にぶい黄橙色（10YR6/4）
18T－1	2.5×0.6×1.7 西壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ⅰｂ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/1） Ⅰｃ層　水田床土　灰オリーブ色シルト（7.5Y5/2）花崗岩礫わずかに含む Ⅰｄ層　水田床土　にぶい黄橙色シルト（10YR6/3）褐色シルト土粒含む　花崗岩礫まばらに含む Ⅲａ層　黒褐色シルト（10YR3/2）マンガン粒まばらに含む Ⅲｂ層　灰黄褐色シルト（10YR4/2）と褐色シルト（7.5YR4/6）が混じる　雲母片含む Ⅲｃ層　灰黄褐色細砂質シルト（10YR4/2）雲母片含む Ⅲｄ層　黒褐色シルト（10YR3/2）上位に褐色シルト土粒含む Ⅲｅ層　にぶい黄橙色砂（10YR7/4）上位に褐色シルト土粒含む Ⅲｆ層　黒褐色粘質土（10YR3/1）上位に明黄褐色粘質土粒が集中　雲母片含む Ⅲｇ層　にぶい黄褐色砂（10YR5/3） Ⅲｈ層　黒褐色砂（10YR3/2） Ⅲｉ層　黒褐色砂質土（10YR3/1）雲母片含む Ⅲｊ層　黒色粘質土（10YR1.7/1）軟質　水分量多い　（湧水のため掘削停止）
18T－2	1.8×0.6×1.2 西壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ⅰｂ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/1） Ⅰｃ層　水田床土　灰オリーブ色シルト（7.5Y5/2）花崗岩礫わずかに含む Ⅰｄ層　近現代客土か　黒色シルト（10YR1.7/1）褐色シルト土粒の集中部あり　非常に硬くしまる Ⅲａ層　にぶい黄褐色シルト（10YR4/3）雲母片含む　褐色シルト土粒まばらに含む Ⅲｂ層　灰黄褐色シルト（10YR4/2）雲母片含む Ⅲｃ層　暗褐色シルト（10YR3/3）褐色シルト土粒・雲母片含む Ⅳ　層　基盤層（花崗岩風化岩盤）　灰黄褐色（10YR5/2）
25T	3.0×0.8×1.0 東壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ⅰｂ層　水田床土　灰オリーブ色シルト（7.5Y5/2）

トレンチ№	規模（長さ×幅×最大深さ，単位m）	調査所見
25Ｔ	3.0×0.8×1.0 東壁	Ⅰｃ層　近現代造成土　明黄褐色粗砂（10YR6/6），褐灰色粗砂（10YR6/1）混じり Ⅱａ層　中世遺物包含層　黒褐色粗砂（10YR3/1）完形の中世土器等，炭化木含む Ⅱｂ層　遺構埋土　黒色粗砂（N2/）遺物なし Ⅲａ層　遺構検出面　褐灰色細砂（10YR4/1） Ⅲｂ層　灰黄褐色粘性細砂（10YR4/2） Ⅳ　層　基盤層（花崗岩風化土）にぶい黄橙色粘性シルト（10YR7/3）10～20cm大の礫多含
26Ｔ－１	3.0×0.8×1.2 西壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ⅰｂ層　水田床土　灰オリーブ色シルト（7.5Y5/2） Ⅰｃ層　近現代造成土　明黄褐色粗砂（10YR6/6），褐灰色粗砂（10YR6/1）混じり Ⅰｄ層　近現代造成土　灰黄褐色粗砂（10YR5/2） Ⅱａ層　中世遺物包含層　灰色粗砂（5Y4/1）土器片，炭化木含む Ⅱｂ層　中世遺物包含層　黒褐色粗砂（10YR3/1）土器片含む Ⅱｃ層　旧表土　黒色粗砂（N2/ ） Ⅲ　層　褐灰色細砂（10YR4/1）20～50cm大の礫含む Ⅳ　層　基盤層（花崗岩風化土）　にぶい黄橙色粗砂（10YR7/3）10～20cm大の礫多含
26Ｔ－２	3.0×0.8×1.7 西壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ⅰｂ層　水田床土　灰オリーブ色シルト（7.5Y5/2） Ⅰｃ層　近現代造成土　明黄褐色粗砂（10YR6/6），褐灰色粗砂（10YR6/1）混じり Ⅰｄ層　近現代造成土　灰黄褐色粗砂（10YR5/2） Ⅰｅ層　近現代造成土　褐灰色粗砂（10YR6/1） Ⅱａ層　灰色粗砂（5Y4/1）土器細片含む Ⅱｂ層　黒褐色粗砂（10YR3/1）土器細片含む Ⅲａ層　黒色粘性シルト（N2/ ）水成堆積層 Ⅲｂ層　黒色粘性シルト（N1.5/ ）水成堆積層 Ⅲｃ層　にぶい黄橙色砂質土（10YR7/2）水成堆積層　（湧水のため掘削停止）
27Ｔ－１	3.0×0.8×1.3 東壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ⅰｂ層　水田床土　灰オリーブ色シルト（7.5Y5/2） Ⅰｃ層　近現代造成土　明黄褐色粗砂（10YR6/6），褐灰色粗砂（10YR6/1）混じり Ⅰｄ層　近現代造成土　灰黄褐色粗砂（10YR5/2） Ⅱａ層　中世遺物包含層　灰色粗砂（5Y4/1）土器片，炭化木含む Ⅱｂ層　旧表土　黒色粗砂（N2/ ）草木の根痕あり

トレンチ No.	規模（長さ×幅×最大深さ，単位m）	調査所見
27Ｔ－１	3.0×0.8×1.3 東壁	Ⅱｃ層　遺構埋土　黒褐色細砂（2.5Y3/1） Ⅲａ層　遺構検出面　褐灰色細砂（10YR4/1） Ⅲｂ層　黒褐色細砂（10YR3/2） Ⅲｃ層　黒色細砂（10YR2/1）10cm大の風化礫多含 Ⅳ　層　基盤層（花崗岩風化土）　灰黄色細砂（2.5Y6/2）10～30cm大の風化礫多含
27Ｔ－２	3.0×0.8×1.5 東壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ⅰｂ層　水田床土　灰オリーブ色シルト（7.5Y5/2） Ⅰｃ層　近現代造成土　灰黄褐色粗砂（10YR5/2） Ⅰｄ層　近現代造成土　褐灰色粗砂（7.5YR5/1），褐色粗砂（7.5YR4/6）混じり Ⅰｅ層　近現代造成土　暗褐色粗砂（7.5YR3/4），灰色粗砂（5Y4/1）混じり Ⅱａ層　灰色粗砂（5Y4/1）土器細片含む Ⅱｂ層　黒褐色粗砂（10YR3/1）土器細片含む Ⅲ　層　黒色粘性シルト（N2/ ）50cm大の礫多含　水成堆積層 （以下，50cm大の礫が多く，掘削不可）
28Ｔ－１	3.0×0.8×0.9 西壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ⅰｂ層　水田床土　灰オリーブ色シルト（7.5Y5/2） Ⅰｃ層　近現代造成土　明黄褐色粗砂（10YR6/6），褐灰色粗砂（10YR6/1）混じり Ⅰｄ層　近現代造成土　灰黄褐色粗砂（10YR5/2） Ⅱａ層　灰色粗砂（5Y4/1） Ⅱｂ層　旧表土　黒色粗砂（N2/ ）草木の根痕多数あり Ⅲ　層　明黄褐色細砂（2.5Y7/6） Ⅳ　層　基盤層（花崗岩風化土）　暗褐色粘性細砂（10YR3/4）10～20cm大の礫多含
28Ｔ－２	3.0×0.8×1.5 西壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ⅰｂ層　水田床土　灰オリーブ色シルト（7.5Y5/2） Ⅰｃ層　近現代造成土　明黄褐色粗砂（10YR6/6），褐灰色粗砂（10YR6/1）混じり Ⅰｄ層　近現代造成土　灰黄褐色粗砂（10YR5/2） Ⅰｅ層　近現代造成土　褐灰色粗砂（7.5YR5/1），褐色粗砂（7.5YR4/6）混じり Ⅰｆ層　近現代造成土　暗褐色粗砂（7.5YR3/4），灰色粗砂（5Y4/1）混じり Ⅱａ層　灰色粗砂（5Y4/1）土器細片含む Ⅱｂ層　黒褐色粗砂（10YR3/1）土器細片含む Ⅲ　層　黒色粘性シルト（N2/ ）50cm大の礫多含　水成堆積層（50cm大の礫が多く，掘削停止）

トレンチ No.	規模（長さ×幅×最大深さ，単位m）	調査所見
29Ｔ－１	3.0×0.8×1.8 東壁	Ｉａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ｉｂ層　水田床土　灰オリーブ色シルト（7.5Y5/2） Ｉｃ層　近現代造成土　明黄褐色粗砂（10YR7/6） Ｉｄ層　近現代以降の旧耕作土　暗灰黄色細砂（2.5Y5/2），下部明黄褐色細砂（2.5 Y 6/6）混じり　炭化木片含む Ｉｅ層　Ｉｄ層に伴う造成土　黄灰色細砂（2.5Y5/1）炭化木含む Ｉｆ層　Ｉｄ層に伴う造成土　暗赤褐色粘性シルト（2.5YR3/2） Ⅱ　層　旧表土　青黒色粘性シルト（5B1.7/1） Ⅳ　層　基盤層（花崗岩風化土）　明黄褐色粘性粗砂（10YR6/6）
29Ｔ－２	3.0×0.8×1.8 東壁	Ｉａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ｉｂ層　水田床土　灰オリーブ色シルト（7.5Y5/2） Ｉｃ層　近現代造成土　明黄褐色粗砂（10YR7/6） Ｉｄ層　近現代以降の旧耕作土　暗灰黄色細砂（2.5Y5/2），下部明黄褐色細砂（2.5 Y 6/6）混じり　炭化木片含む Ｉｅ層　近現代以降の旧耕作土　灰オリーブ細砂（5Y6/2） Ｉｆ層　近現代以降の造成土　褐灰色細砂（7.5YR5/1），橙色細砂（7.5YR6/6）混じり Ｉｇ層　近現代以降の造成土　黄灰色細砂（2.5Y5/1） Ｉｈ層　近現代以降の造成土　褐灰色細砂（5YR4/1） Ⅱ　層　旧表土　黒色粗砂（10YR2/1）草木の根痕多数あり Ⅲ　層　褐色細砂（7.5YR4/6）10cm大の礫含む Ⅳ　層　基盤層（花崗岩風化土）　明黄褐色粗砂（10YR6/6）
30Ｔ	3.0×1.0×1.5 南壁	Ｉａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ｉｂ層　水田床土　灰オリーブ色シルト（7.5Y5/2） Ｉｃ層　旧耕作土　褐色細砂（10YR4/6） Ⅲａ層　灰白色粗砂（10YR8/1）と明黄褐色シルト（2.5Y7/6）の互層堆積 Ⅲｂ層　灰黄色砂質土（2.5Y7/2） Ⅲｃ層　灰黄色砂質土（2.5Y6/2） Ⅳ　層　基盤層（花崗岩風化岩盤）　灰白色（5Y8/1）
31Ｔ	3.0×1.0×1.8 南壁	Ｉａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ｉｂ層　水田床土　灰オリーブ色シルト（7.5Y5/2） Ｉｃ層　旧耕作土　褐色細砂（10YR4/6）

トレンチ No.	規模（長さ×幅×最大深さ，単位m）	調査所見
31T	3.0×1.0×1.8 南壁	Ⅰd層　近現代造成土　明黄褐色粘性細砂（10YR6/8），灰黄褐色粘性細砂（10YR5/2）混じり　炭化物含む Ⅲa層　褐灰色砂質土（7.5YR5/1），褐色砂質土（7.5Y4/3）混じり Ⅲb層　褐灰色粘性細砂（7.5YR4/1）3.0cm大の風化礫含む Ⅳ　層　基盤層（花崗岩風化岩盤）　灰白色（5Y8/1）
32T	3.0×1.0×1.1 南壁	Ⅰa層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ⅰb層　水田床土　灰オリーブ色シルト（7.5Y5/2） Ⅰc層　旧耕作土　褐色細砂（10YR4/6） Ⅰd層　近現代造成土　黒褐色粗砂（10YR3/2） Ⅲ　層　灰白色粗砂（10YR8/1）と明黄褐色シルト（2.5Y7/6）の互層堆積 Ⅳ　層　基盤層（花崗岩風化岩盤）　灰白色（5Y8/1）
33T	3.0×1.0×0.9 西壁	Ⅰa層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ⅰb層　水田床土　灰オリーブ色シルト（7.5Y5/2） Ⅰc層　旧耕作土　褐色細砂（10YR4/6） Ⅲa層　黒褐色粘性細砂（10YR2/2）5.0cm大の風化礫含む Ⅲb層　褐灰色粗砂（10YR4/1） Ⅳ　層　基盤層（花崗岩風化土）褐灰色粗砂（7.5YR5/1），明褐色粗砂（7.5YR5/6）混じり　5.0cm大の風化礫含む
34T	3.0×0.8×1.1 東壁	Ⅰa層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ⅰb層　水田床土　灰オリーブ色シルト（7.5Y5/2） Ⅰc層　旧耕作土　黄褐色粘性細砂（10Y6/8） Ⅲ　層　黒褐色粘性細砂（10YR2/2）5.0cm大の風化礫含む Ⅳ　層　基盤層（花崗岩風化土）　にぶい黄橙色粗砂（10YR6/4）5.0 ～ 20.0cm大の風化礫多含
35T	3.0×0.8×1.6 東壁	Ⅰa層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ⅰb層　水田床土　灰オリーブ色シルト（7.5Y5/2） Ⅰc層　旧耕作土　黄褐色粘性細砂（10Y6/8） Ⅰd層　近現代造成土　灰黄褐色細砂（10YR6/2） Ⅲa層　黒褐色粘性細砂（10YR2/2）中世土器細片含む 5.0cm大の風化礫含む Ⅲb層　灰褐色粘性細砂（7.5YR4/2）炭化物含む　5.0cm大の風化礫含む Ⅲc層　黒褐色粘性細砂（10YR3/2）5.0cm大の風化礫含む 水成堆積層 Ⅲd層　黒色粘性シルト（10YR1.7/1）5.0cm大の風化礫含む 水成堆積層（湧水のため掘削停止）

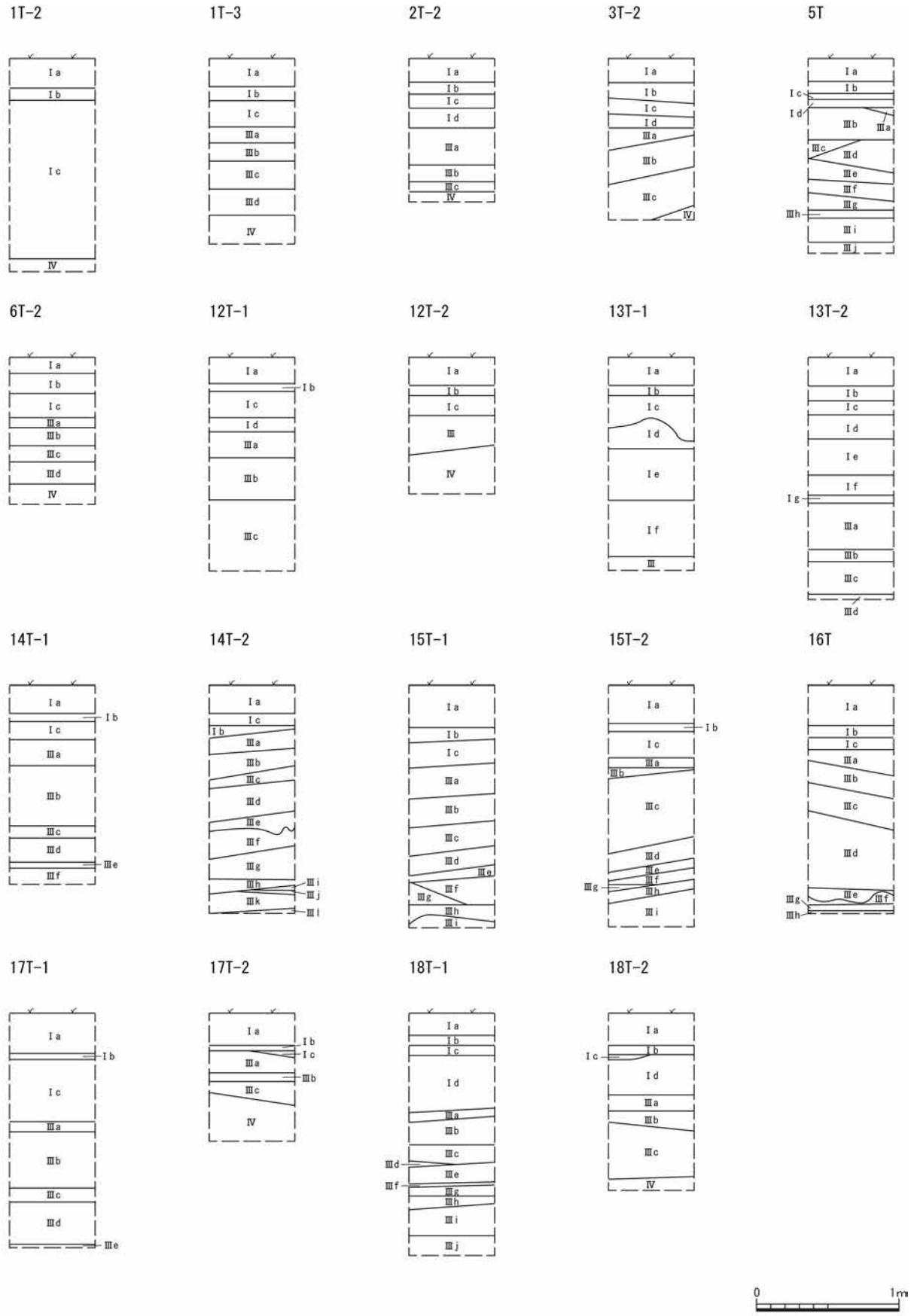
トレンチ No.	規模（長さ×幅×最大深さ，単位m）	調査所見
36Ｔ－１	4.5×0.8×1.3 東壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ⅰｂ層　水田床土　灰オリーブ色シルト（7.5Y5/2） Ⅰｃ層　黒褐色粗砂（10YR3/1），にぶい黄色粗砂（2.5Y6/4）ブロック混じり Ⅰｄ層　褐灰色粗砂（10YR6/1）炭混じり Ⅰｅ層　にぶい黄色粗砂（2.5Y6/3） Ⅰｆ層　にぶい黄橙色粗砂（10YR5/1），明黄褐色粗砂（10YR6/6）混じり Ⅲａ層　褐灰色粗砂（10YR5/1） Ⅲｂ層　黒褐色粗砂（2.5Y3/1）5.0 ～ 10.0㎝大の風化礫含む Ⅲｃ層　褐灰色粗砂（7.5YR4/1）5.0 ～ 10.0㎝大の風化礫含む Ⅳ　層　基盤層（花崗岩風化土）　明褐色細砂（7.5YR5/6）
36Ｔ－２	4.0×0.8×1.6 東壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ⅰｂ層　水田床土　灰オリーブ色シルト（7.5Y5/2） Ⅰｃ層　黒褐色粗砂（10YR3/1），にぶい黄色粗砂（2.5Y6/4）ブロック混じり Ⅰｄ層　褐灰色粗砂（10YR6/1）炭混じり Ⅰｅ層　にぶい黄色粗砂（2.5Y6/3） Ⅰｆ層　にぶい黄橙色粗砂（10YR5/1），明黄褐色粗砂（10YR6/6）混じり Ⅲａ層　褐灰色粗砂（10YR5/1） Ⅲｂ層　風化礫層 明褐色砂質土（7.5YR5/6），灰白色砂質土（10YR7/1）混じり Ⅲｃ層　黒褐色粗砂（2.5Y3/1）5.0 ～ 10.0㎝大の風化礫含む Ⅲｄ層　黒褐色粘性細砂（2.5Y3/2） Ⅲｅ層　黒色粘性シルト（10YR1.7/1）（湧水のため掘削停止）
37Ｔ	3.0×0.8×1.8 東壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ⅰｂ層　水田床土　灰オリーブ色シルト（7.5Y5/2） Ⅰｃ層　近現代造成土　黄灰色細砂（2.5Y5/1） Ⅰｄ層　近現代造成土　灰色細砂（N5/ ） Ⅰｅ層　近現代造成土　黄灰色細砂（2.5Y6/1），明黄褐色細砂（2.5Y6/6）混じり Ⅰｆ層　近現代造成土　灰黄褐色粗砂（10YR4/2） Ⅲａ層　褐灰色粗砂（5YR4/1） Ⅲｂ層　黒褐色粗砂（5YR3/1） Ⅲｃ層　褐灰色粗砂（7.5YR4/1） Ⅲｄ層　褐灰色砂質土（7.5YR6/1） Ⅲｅ層　黒色粘性シルト（N1.5/ ）（湧水のため掘削停止）

トレンチ No.	規模（長さ×幅×最大深さ，単位m）	調査所見
38T	3.0×0.8×1.7 西壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ⅰｂ層　水田床土　灰オリーブ色シルト（7.5Y5/2） Ⅰｃ層　近現代造成土　黄灰色細砂（2.5Y5/1） Ⅲａ層　黒褐色粗砂（5YR3/1） Ⅲｂ層　褐灰色粗砂（7.5YR4/1） Ⅲｃ層　黒色粘性シルト（N1.5/ ）（湧水のため掘削停止）
39T	3.0×0.8×1.0 東壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ⅰｂ層　水田床土　灰オリーブ色シルト（7.5Y5/2） Ⅰｃ層　近現代造成土　褐灰色粘性粗砂（10YR6/1），にぶい黄橙色粘性粗砂（10YR4/3）混じり Ⅰｄ層　近現代造成土　灰色粘性細砂（N5/ ），にぶい黄褐色粘性細砂（10YR4/3）混じり Ⅰｅ層　近現代造成土　暗灰色粘性細砂（N3/ ）（暗渠があったため掘削停止）
40T	3.0×0.8×0.8 東壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ⅰｂ層　水田床土　灰オリーブ色シルト（7.5Y5/2） Ⅰｃ層　明黄褐色粗砂（2.5Y7/6） Ⅰｄ層　灰オリーブ色粗砂（7.5Y6/2）5.0 ～ 10.0cm大の礫混じり Ⅰｅ層　旧耕作土　暗灰色細砂（N3/ ）草木の根痕あり Ⅳ　層　基盤層（花崗岩風化土）　オリーブ灰色細砂（2.5GY5/1）グライ層 10.0 ～ 20.0cm の風化礫多含
41T	3.0×0.8×1.3 東壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ⅰｂ層　水田床土　灰オリーブ色シルト（7.5Y5/2） Ⅰｃ層　近現代造成土　黄褐色粗砂（10YR5/6），黄色粗砂（2.5Y8/6）ブロック混じり Ⅲａ層　オリーブ灰色粘性粗砂（2.5GY6/1） Ⅲｂ層　灰色粘性細砂（7.5Y4/1） Ⅲｃ層　黒褐色粘性シルト（5YR2/1） Ⅲｄ層　明オリーブ灰色粗砂（2.5GY7/1）グライ層 Ⅲｅ層　緑灰色粗砂（10G6/1）グライ層　1.0 ～ 2.0cm大の風化礫含む（湧水のため掘削停止）
42T	3.0×0.8×1.1 西壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ⅰｂ層　水田床土　灰オリーブ色シルト（7.5Y5/2） Ⅰｃ層　近現代造成土　褐灰色粗砂（7.5YR4/1），明褐色（7.5YR5/6）ブロック混じり Ⅲａ層　明黄褐色粗砂（2.5Y6/6）5.0cm大の風化礫含む

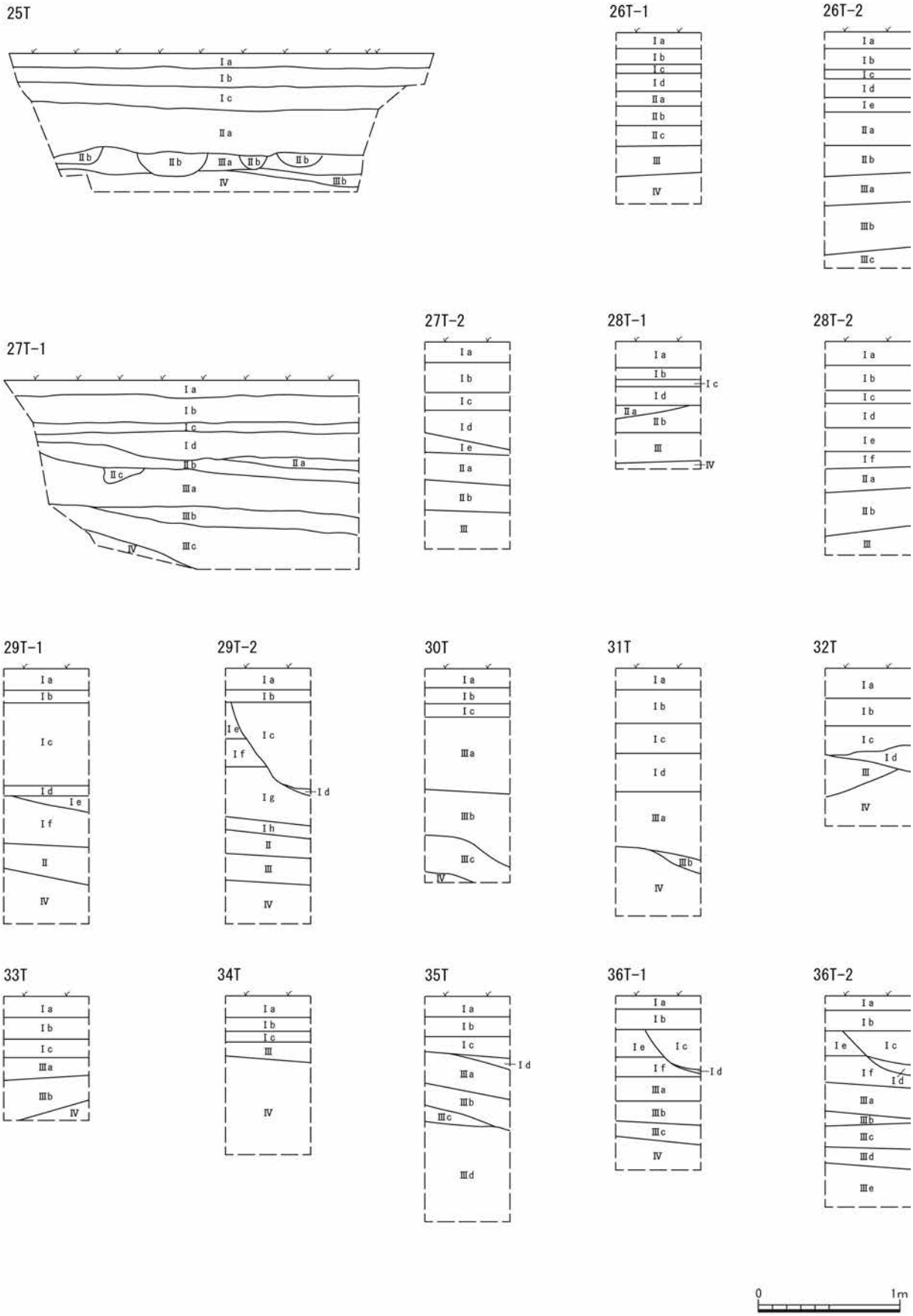
トレンチ No.	規模（長さ×幅×最大深さ，単位m）	調査所見
42T	3.0×0.8×1.1 西壁	Ⅲｂ層　にぶい黄色粗砂（2.5Y6/3）5.0 ～ 10.0cm大の風化礫含む Ⅳ　層　基盤層（花崗岩風化土）5.0 ～ 20.0cm大の風化礫含む
43T－1	3.0×0.8×1.5 西壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ⅰｂ層　水田床土　灰オリーブ色シルト（7.5Y5/2） Ⅰｃ層　近現代造成土　浅黄色粗砂（5Y7/4）10.0cm大の礫含む Ⅲａ層　灰黄褐色粗砂（10YR5/2） Ⅲｂ層　暗褐色粗砂（10YR3/3）10.0cm大の風化礫含む Ⅲｃ層　黒色粗砂（10YR2/1）10.0 ～ 20.0cm大の風化礫含む Ⅳ　層　基盤層（花崗岩風化土）　浅黄色細砂（5Y8/4），橙色細砂（7.5YR6/8）混じり
43T－2	3.0×0.8×1.7 東壁	Ⅰａ層　耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ⅰｂ層　水田床土　灰オリーブ色シルト（7.5Y5/2） Ⅲａ層　灰黄褐色粗砂（10YR5/2） Ⅲｂ層　灰黄褐色粗砂（10YR4/2） Ⅲｃ層　暗褐色粗砂（10YR3/3）10.0cm大の風化礫含む Ⅲｄ層　黒色粗砂（10YR2/1）10.0 ～ 20.0cm大の風化礫含む　草木の根痕あり Ⅲｅ層　黄色細砂（2.5Y7/8） Ⅳ　層　基盤層（花崗岩風化土）　淡黄色細砂（5Y8/4）10.0 ～ 20.0cm大の風化礫含む
44T－1	1.8×0.6×0.9 西壁	Ⅰａ層　旧耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ⅰｂ層　旧耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2）と黄褐色シルト（10YR5/8）が混じる Ⅰｃ層　造成土　褐色シルト（10YR4/6），にぶい黄褐色シルト（10YR5/3）及び明黄褐色シルト（10YR6/6）が混じる　大礫含む Ⅰｄ層　造成土　にぶい黄褐色シルト（10YR4/3）とにぶい黄褐色シルト（10YR5/4）が混じる Ⅲ　層　灰黄褐色シルト（10YR4/2）雲母片含む Ⅳ　層　基盤層（花崗岩風化土）　黄褐色シルト（10YR5/8）花崗岩礫含む
44T－2	1.8×0.6×1.1 西壁	Ⅰａ層　旧耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ⅰｂ層　旧耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2）と黄褐色シルト（10YR5/8）が混じる Ⅰｃ層　造成土　褐色シルト（10YR4/6），にぶい黄褐色シルト（10YR5/3）及び明黄褐色シルト（10YR6/6）が混じる　大礫含む Ⅰｄ層　造成土　にぶい黄褐色シルト（10YR4/3）とにぶい黄褐色シルト（10YR5/4）が混じる Ⅲａ層　灰黄褐色シルト（10YR4/2）雲母片含む Ⅲｂ層　暗褐色シルト（10YR3/3）雲母片含む

トレンチ No.	規模（長さ×幅×最大深さ，単位m）	調査所見
44T－2	1.8×0.6×1.1 西壁	Ⅲｃ層　黒色シルト（10YR2/1）花崗岩礫多量に含む　雲母片含む Ⅳ　層　基盤層（花崗岩風化土）　黄褐色シルト（10YR5/8）花崗岩礫含む
45T	2.0×0.6×0.9 西壁	Ⅰａ層　旧耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ⅰｂ層　旧耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2）と黄褐色シルト（10YR5/8）が混じる Ⅰｃ層　造成土　褐色シルト（10YR4/6），にぶい黄褐色シルト（10YR5/3）及び明黄褐色シルト（10YR6/6）が混じる　大礫含む Ⅰｄ層　造成土　にぶい黄褐色シルト（10YR4/3）とにぶい黄褐色シルト（10YR5/4）が混じる Ⅲａ層　灰黄褐色細砂質シルト（10YR4/2） Ⅲｂ層　灰黄褐色シルト（10YR4/2）雲母片含む Ⅲｃ層　暗褐色シルト（10YR3/3）雲母片含む Ⅳ　層　基盤層（花崗岩風化土）　褐色シルト（7.5YR4/4）花崗岩大礫含む
46T	2.0×0.6×1.4 西壁	Ⅰａ層　旧耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2） Ⅰｂ層　旧耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2）と黄褐色シルト（10YR5/8）が混じる Ⅰｃ層　造成土　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）　黄褐色シルト（10YR5/8）の集中部あり 雲母片含む Ⅰｄ層　造成土　褐色シルト（10YR4/6），にぶい黄褐色シルト（10YR5/3）及び明黄褐色シルト（10YR6/6）が混じる Ⅲａ層　暗褐色砂質土（10YR3/3）褐色シルト土粒まばらに含む　花崗岩大礫含む Ⅲｂ層　にぶい黄褐色極粗粒砂（10YR5/3）花崗岩大礫まばらに含む
47T	2.0×0.6×0.8 東壁	Ⅰａ層　旧耕作土　黒色粘質土（10YR2/1）軟質　水分量多い Ⅰｂ層　にぶい黄橙色砂（10YR7/3） Ⅰｃ層　オリーブ灰色砂質土（5GY5/1）グライ化 Ⅲ　層　暗オリーブ灰色砂質土（5GY4/1）色調還元気味 Ⅳ　層　基盤層（花崗岩風化土）　緑灰色シルト（10GY6/1）色調還元気味
48T	2.0×0.6×1.3 西壁	Ⅰａ層　旧耕作土　黒褐色細砂質シルト（10YR3/1） Ⅰｂ層　旧耕作土　黒褐色シルト（10YR3/2）炭化物含む Ⅰｃ層　造成土　灰黄褐色シルト（10YR5/2）黄褐色シルト土粒含む Ⅰｄ層　造成土　黄褐色シルト（10YR5/6）礫多量に含む Ⅲａ層　にぶい黄褐色極粗粒砂（10YR5/3）上面にマンガン粒の集中部あり　炭化物含む Ⅲｂ層　にぶい黄橙色砂（10YR6/4）花崗岩礫含む Ⅳ　層　基盤層（花崗岩風化土）　にぶい黄褐色シルト（10YR4/3）花崗岩大礫含む硬くしまる

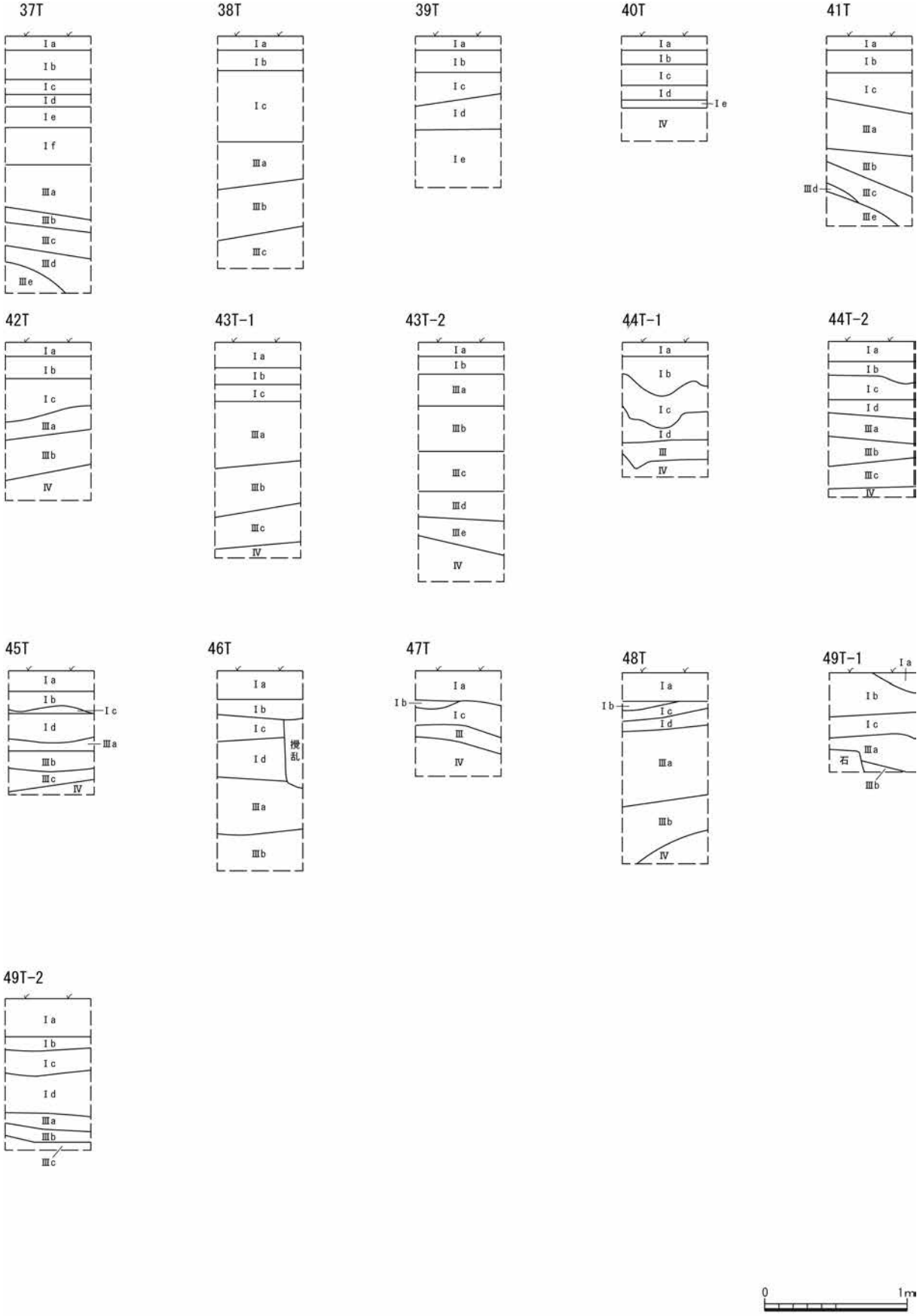
トレンチ№	規模（長さ×幅×最大深さ，単位m）	調査所見
49Ｔ－１	2.0×0.6×0.7 東壁	Ｉａ層　表土・造成土　にぶい黄褐色砂（10YR4/3） Ｉｂ層　旧耕作土　黒褐色シルト（10YR3/1）軟質　水分量多い Ｉｃ層　水田床土　暗オリーブ灰色砂質土（2.5GY4/1）花崗岩礫含む　硬くしまる　色調還元気味 Ⅲａ層　明緑灰色砂（10GY7/1）と暗オリーブ灰色砂質土（2.5GY4/1）が混じる　花崗岩大礫わずかに含む　色調還元気味 Ⅲｂ層　オリーブ黒色粘質土（7.5Y3/2）花崗岩大礫含む　水分量多い（湧水のため掘削停止）
49Ｔ－２	2.0×0.6×1.1 東壁	Ｉａ層　旧耕作土　黒褐色シルト（10YR3/1）軟質　水分量多い Ｉｂ層　水田床土　暗オリーブ灰色砂質土（2.5GY4/1）花崗岩礫含む　硬くしまる　色調還元気味 Ｉｃ層　暗褐色砂質土（10YR3/3） Ｉｄ層　黄褐色砂質土（10YR5/6）花崗岩礫多量に含む　軟質　水分量多い Ⅲａ層　暗褐色シルト（10YR3/3）マンガン粒含む　軟質　水分量多い Ⅲｂ層　明黄褐色シルト（10YR6/6）軟質　水分量多い Ⅲｃ層　黒褐色粘質土（10YR3/2）軟質　水分量多い



第13図　農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地土層断面図（1：40）

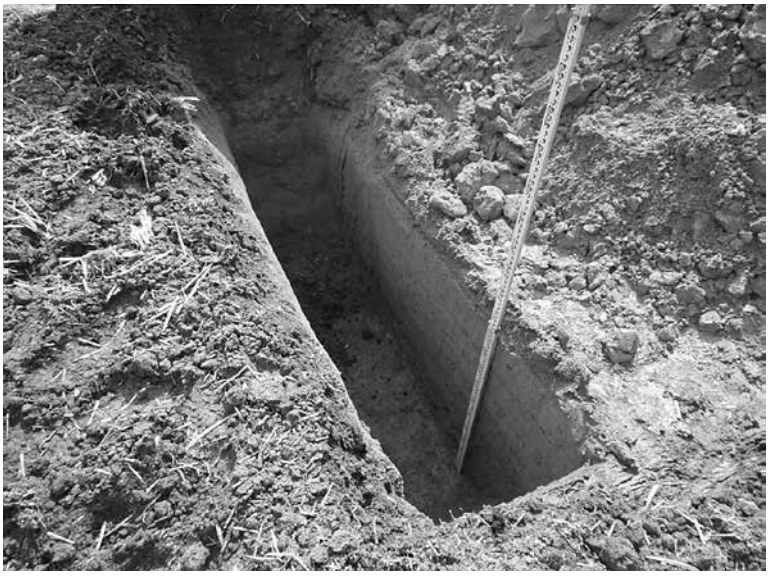


第14図　農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地土層断面図（1：40）



第15図　農業競争力強化基盤整備事業（堀工区）計画地土層断面図（1：40）

a　１Ｔ－２（北西から）



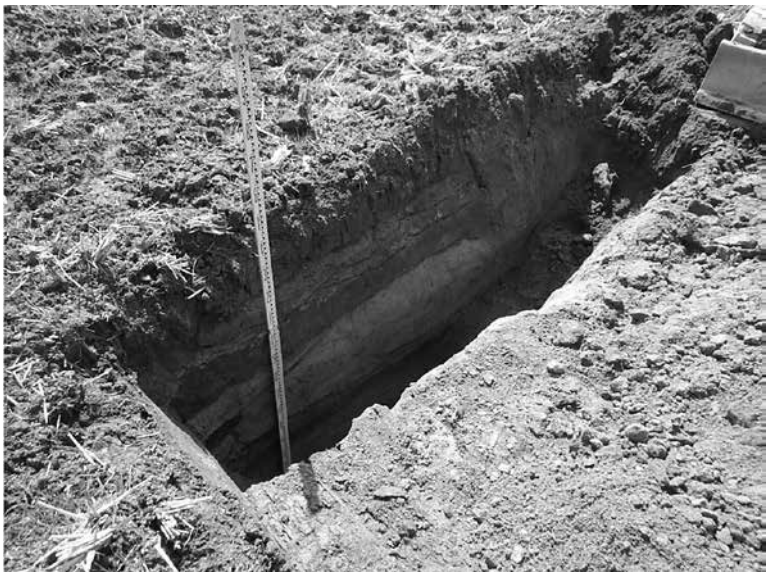
b　１Ｔ－３（北東から）

c　１Ｔ－３土層（東から）

a　２Ｔ－２（南東から）

b　２Ｔ－２土層（東から）

c　３Ｔ－２（南東から）



a　５Ｔ（北西から）

b　６Ｔ－２（南西から）

c　６Ｔ－２土層（南から）

a　12Ｔ－１（北東から）

b　12Ｔ－１土層（東から）

c　12Ｔ－２（北東から）

d　13Ｔ－１土層（北西から）

e　13Ｔ－１土層（西から）

f　13Ｔ－２（北西から）

g　13Ｔ－２土層（西から）

h　14Ｔ－１（北東から）

a　14T－1土層（東から）

b　14T－2（北東から）

c　14T－2土層（東から）

d　15T－1（北西から）

e　15T－1土層（西から）

f　15T－2（北西から）

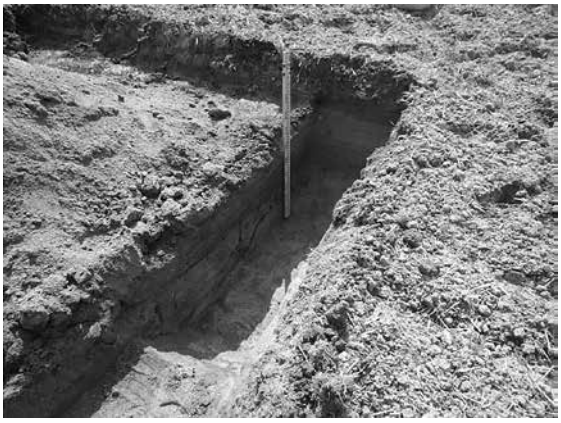
g　15T－2土層（西から）

h　16T（南西から）

a　16T土層（西から）

b　17T－1（北西から）

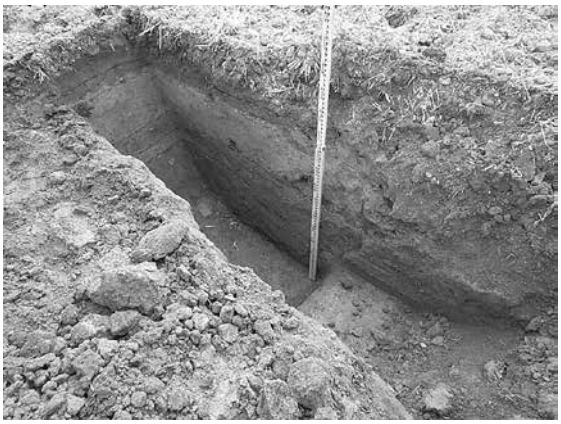
c　17T－1土層（西から）

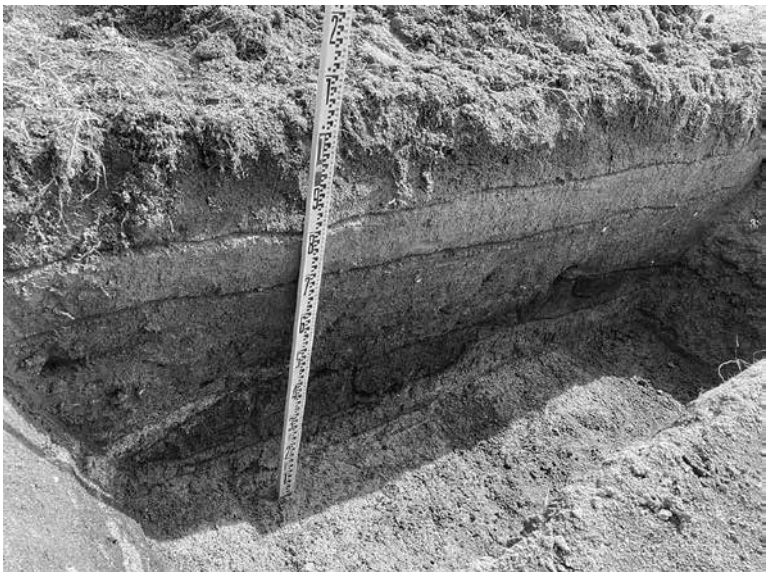

d　17T－2（南西から）

e　17T－2土層（西から）

f　18T－1（北東から）

g　18T－1土層（東から）

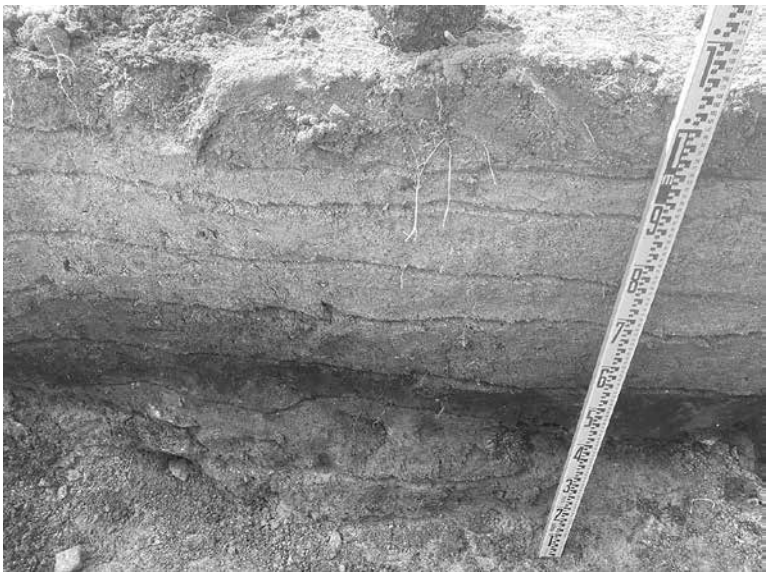

h　18T－2（北東から）



a　25Ｔ（西から）

b　25Ｔ遺構検出状況（南から）

c　26Ｔ－１（北東から）



a　26Ｔ－１土層（東から）

b　26Ｔ－２（東から）

c　27Ｔ－１（西から）

a　27Ｔ－１土層（西から）

b　27Ｔ－２（西から）

c　28Ｔ－１（東から）

a　28Ｔ－２（東から）

b　29Ｔ（西から）

c　30Ｔ（北から）

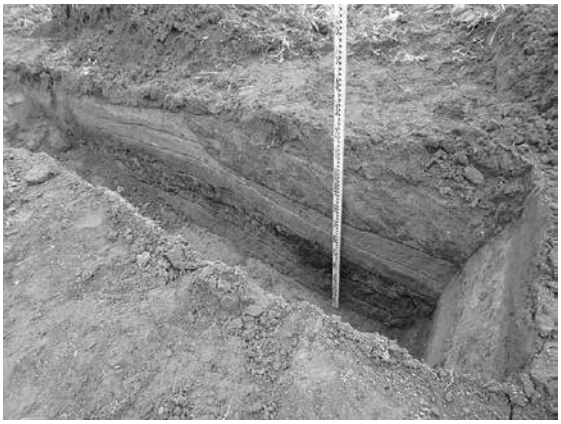
a　31Ｔ（北から）

b　32Ｔ（北から）

c　33Ｔ（東から）

d　34Ｔ（北西から）

e　35Ｔ（北西から）



f　36Ｔ－１（西から）

g　36Ｔ－２（西から）

h　37Ｔ（西から）

a　38Ｔ（北西から）

b　39Ｔ（西から）

c　40Ｔ（西から）

d　41Ｔ（西から）

e　42Ｔ（東から）

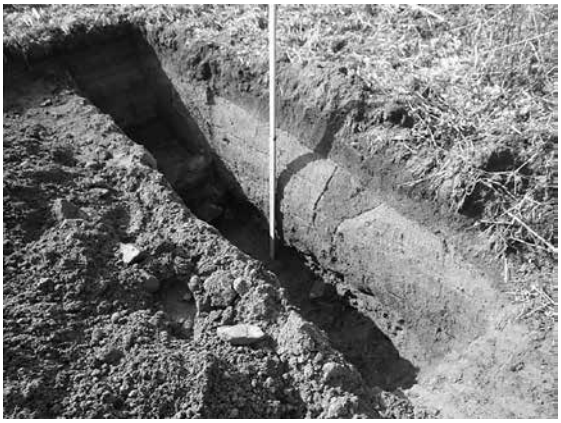
f　43Ｔ－１（東から）

g　43Ｔ－２（西から）

h　44Ｔ－１（北東から）

a　44Ｔ－２（北東から）

b　45Ｔ（東から）



c　46Ｔ（北東から）

d　47Ｔ（西から）

e　48Ｔ（東から）

f　48Ｔ土層（南東から）

g　49Ｔ－１（西から）

h　49Ｔ－２（北西から）

1

2

3

4

a　出土遺物

報　告　書　抄　録

ふりがな	れいわさんねんど ひろしまけんないいせきはっくつちょうさ（しょうさいぶんぷちょうさ）ほうこくしょ
書名	令和３年度広島県内遺跡発掘調査（詳細分布調査）報告書
編著者名	森本直人，村田　晋
編集機関	広島県教育委員会事務局管理部文化財課
所在地	〒730－8514　広島県広島市中区基町９番42号　TEL082－513－5023
発行年月日	西暦2023年３月31日

所収遺跡名（ふりがな）	所在地（ふりがな）	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	発掘期間	遺跡面積（㎡）	発掘原因
福原２号遺跡（ふくはらにごういせき）	広島県東広島市西条町寺家（ひろしまけんひがしひろしまし さいじょうちょうじけ）	34212	986	34°26′15″	132°43′36″	20211108～20211117	1,700.26	試掘調査
福原南遺跡（ふくはらみなみいせき）		34212	854	34°26′14″	132°43′40″		784.53	試掘調査
横田１号遺跡（よこたいちごういせき）		34212	914	34°26′12″	132°43′43″		2,699.54	試掘調査
御薗宇城跡（みそのうじょうあと）	広島県東広島市高屋町高屋堀（ひろしまけんひがしひろしまし たかやちょうたかやほり）	34212	906	34°28′15″	132°48′3″	20220302～20220311	4,205	試掘調査
（遺跡名称未確定）		34212		34°28′20″	132°47′59″		2,622	試掘調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
福原２号遺跡	集落跡	弥生	柱穴	土器	
福原南遺跡	集落跡	弥生	土坑，柱穴	土器	
横田１号遺跡	集落跡	弥生	土坑，柱穴	土器	
御薗宇城跡	城館跡	中世	堀	土器	
(遺跡名称未確定)	集落跡	中世	柱穴	土器	

要約

大規模開発事業等に先立ち，令和３年度に実施した埋蔵文化財の分布調査及び試掘・確認調査の成果を収録した。令和３年度に現地踏査等36件，試掘・確認調査２事業８地点を実施した結果，埋蔵文化財包蔵地５か所を確認した。

令和３年度
広島県内遺跡発掘調査（詳細分布調査）報告書

編　集　広島県教育委員会事務局管理部文化財課
　　広島県広島市中区基町９番42号
　　TEL 082－513－5023
発　行　広島県教育委員会
発行日　令和５年３月31日
印　刷　株式会社呉精版印刷